



# 訪問理美容サービスに関する 利用実態調査2020 レポート

2020年12月17日

(株)リクルートライフスタイル  
ホットペッパービューティーアカデミー

調査概要	P.2
ケアマネージャー編	P.3
対象者プロフィール	P.4
訪問理美容サービスの認知と利用状況①	P.5
訪問理美容サービスの認知と利用状況②	P.6
訪問理美容サービスの認知と利用状況③	P.7
訪問理美容サービスの利用実態①【介護・福祉施設】	P.8
訪問理美容サービスの利用実態②【介護・福祉施設】	P.9
訪問理美容サービスの利用実態③【在宅】	P.10
訪問理美容サービスの利用実態④【在宅】	P.11
訪問理美容サービスへの満足度①	P.12
訪問理美容サービスへの満足度②	P.13
訪問理美容サービスへの要望	P.14
理美容室の併用状況①	P.15
理美容室の併用状況②	P.16
訪問理美容サービス非利用者の理美容室利用状況	P.17
非利用者の訪問理美容サービスの利用可能性①	P.18
非利用者の訪問理美容サービスの利用可能性②	P.19
コロナ禍での訪問理美容サービスの利用変化	P.20
コロナ禍での訪問理美容サービスのイメージ変化	P.21

ご家族編	P.22
対象者プロフィール	P.23
訪問理美容サービスの認知と利用状況①	P.24
訪問理美容サービスの認知と利用状況②	P.25
訪問理美容サービスの認知と利用状況③	P.26
訪問理美容サービスの利用実態①【介護・福祉施設】	P.27
訪問理美容サービスの利用実態②【介護・福祉施設】	P.28
訪問理美容サービスの利用実態③【在宅】	P.29
訪問理美容サービスの利用実態④【在宅】	P.30
訪問理美容サービスへの満足度①	P.31
訪問理美容サービスへの満足度②	P.32
訪問理美容サービスへの要望	P.33
理美容室の併用状況①	P.34
理美容室の併用状況②	P.35
訪問理美容サービス非利用者の理美容室利用状況	P.36
非利用者の訪問理美容サービスの利用可能性①	P.37
非利用者の訪問理美容サービスの利用可能性②	P.38
コロナ禍での訪問理美容サービスの利用変化	P.39
コロナ禍での訪問理美容サービスのイメージ変化	P.40

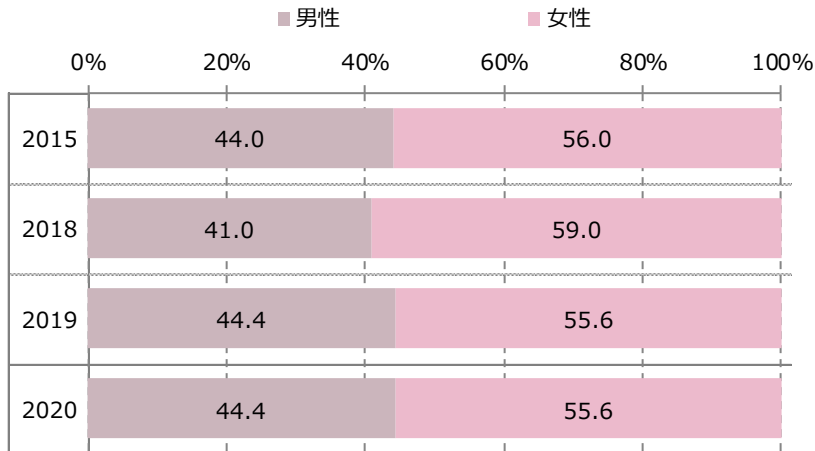
<b>調査目的</b>	▶ 要支援者・要介護者に対する訪問理美容サービスの利用実態把握					
<b>調査手法</b>	▶ インターネット調査（マクロミル アンケートモニター）					
<b>調査エリア</b>	▶ 全国					
<b>回収数</b>			ご家族			
		ケアマネージャー	要支援レベル1～2の方と同居されているご家族	要介護レベル1～2の方と同居されているご家族	要介護レベル3～5の方と同居されているご家族	TOTAL
	2015年	100	200	200	100	600
	2018年	100	200	200	100	600
	2019年	135	470	686	699	1990
2020年	124	470	734	734	2062	
<b>実査期間</b>	▶ 2020年10月9日(金)～2020年10月18日(日)					



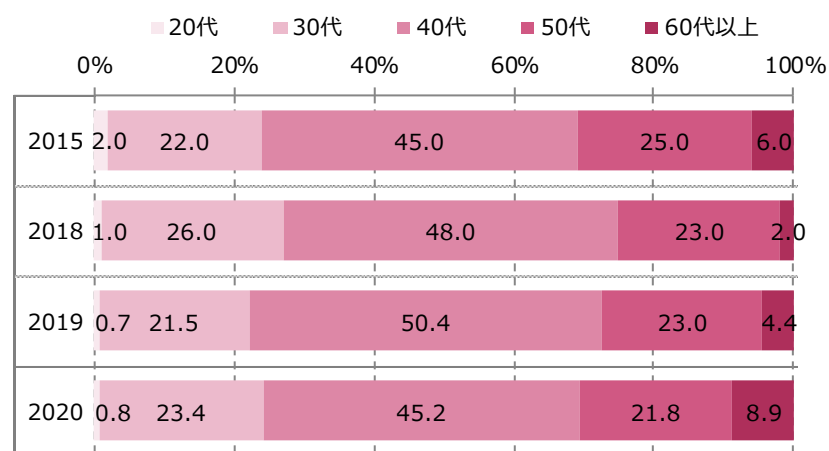
# ケアマネージャー編

## ケアマネージャー（2015/2018 n=100、2019 n=135、2020 n=124）

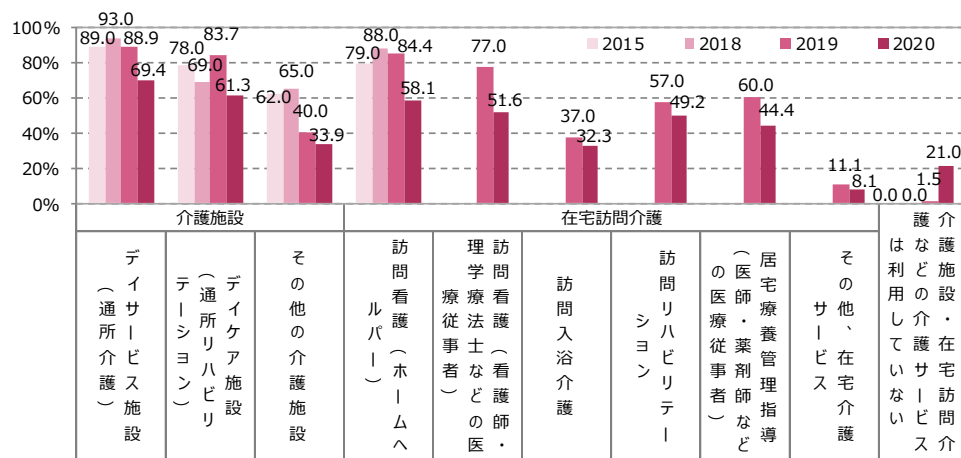
### 性別



### 年齢



### 担当介護支援場所

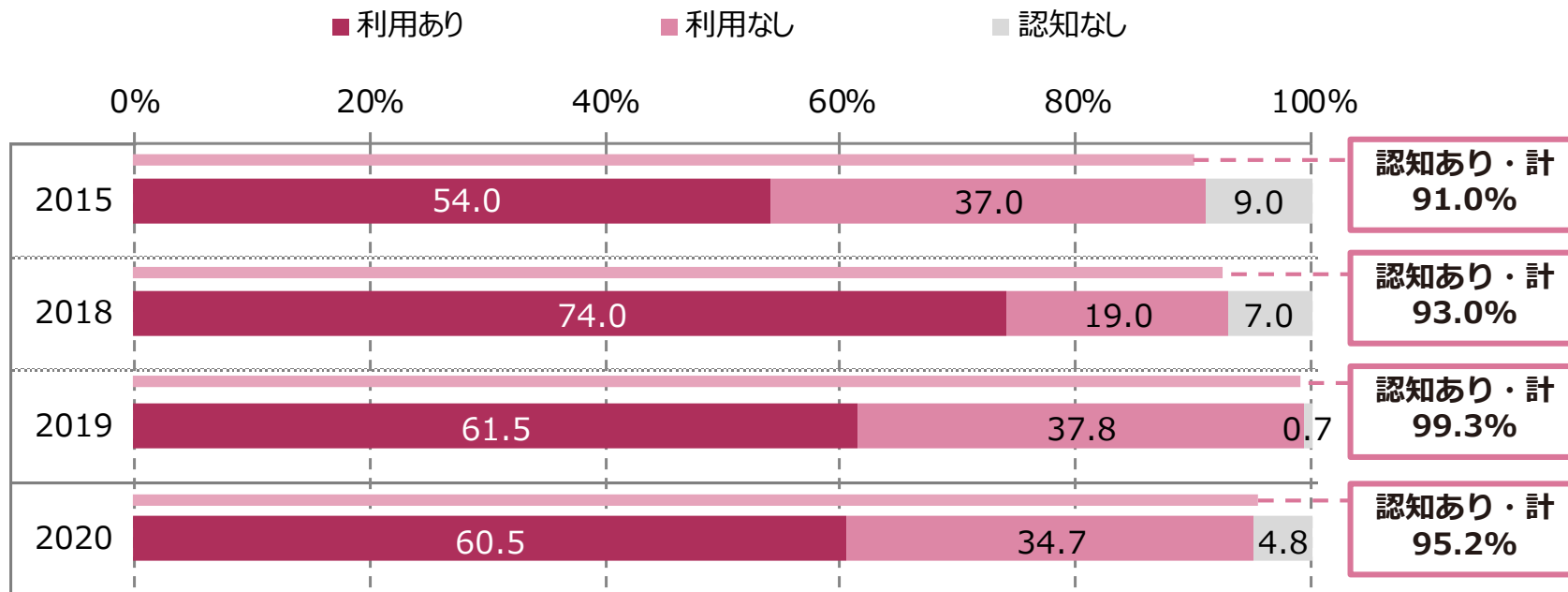


※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

# A 訪問理美容サービスの認知と利用状況①

訪問理美容サービスの認知率は95.2%で、ほぼすべての人が認知している。  
自身が担当している要支援者・要介護者の中に訪問理美容サービスを利用している人がいる割合は60.5%と、2019年とほぼ同レベル。

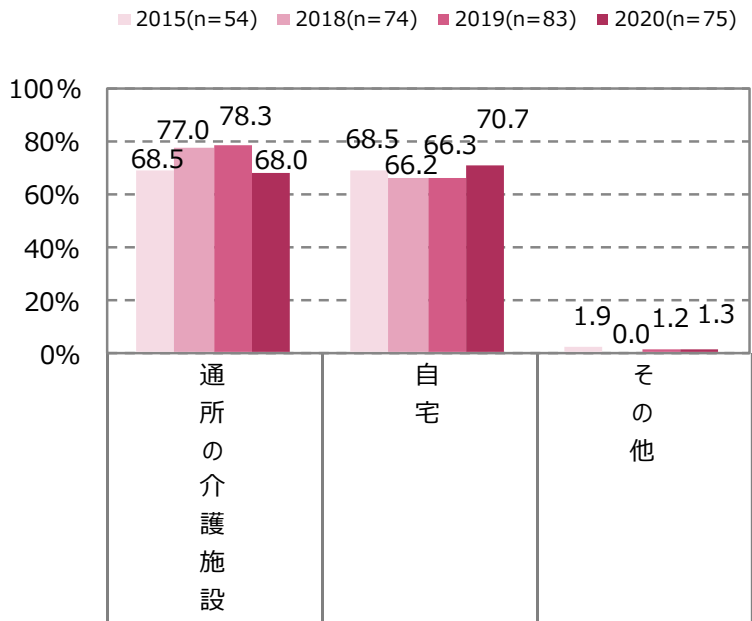
訪問理美容サービスの認知、訪問理美容サービスの利用 (Q2、Q4) (2015/2018 n=100、2019 n=135、2020 n=124)



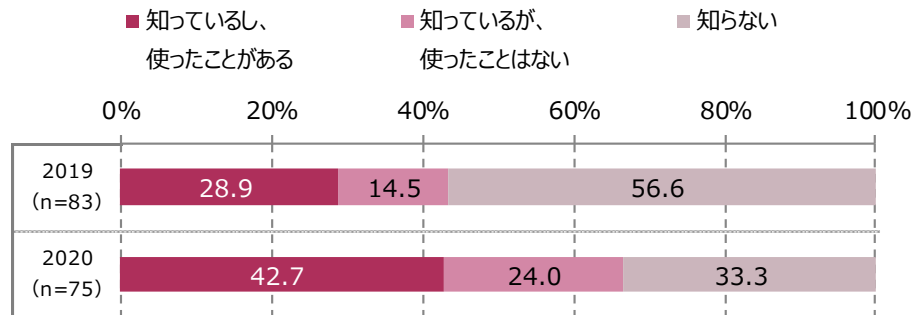
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

訪問理美容サービスの利用場所は「自宅」が最多。2019年からやや増加した。  
2019年より聴取している理美容チケットの利用率は4割強、認知率は6割半ばと、いずれも2019年から大幅に増加しており、浸透が進んでいる。

訪問理美容サービスの利用場所 (Q5)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)



理美容チケットの認知・利用状況 (Q25)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)

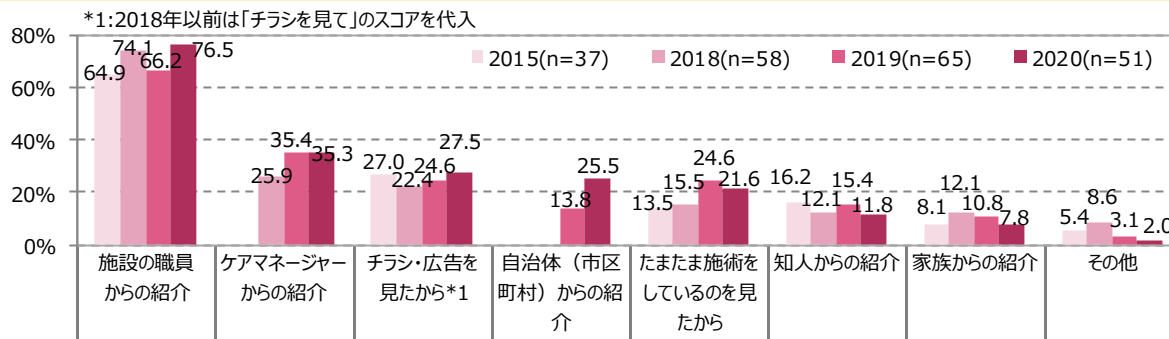


※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

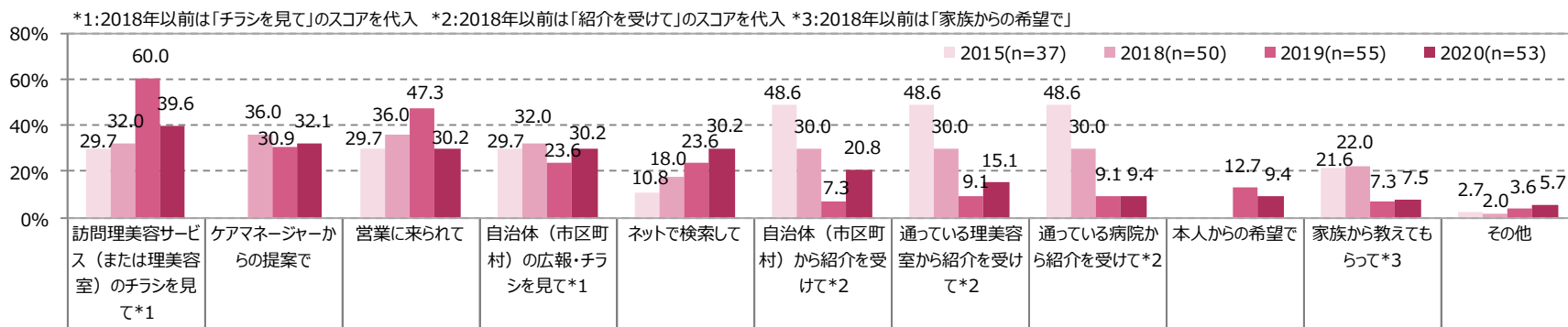
介護施設での利用きっかけは「施設の職員からの紹介」が、在宅での認知きっかけは「訪問理美容サービスのチラシを見て」がそれぞれトップ。  
在宅での認知きっかけは「ネットで検索して」が年々増加しており、オンラインの認知経路が存在感を増している。

## 訪問理美容サービスの利用のきっかけ (Q7, Q8) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護施設で訪問理美容サービスを利用しはじめたきっかけ



### 在宅での訪問理美容サービスを知ったきっかけ



※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート ※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります



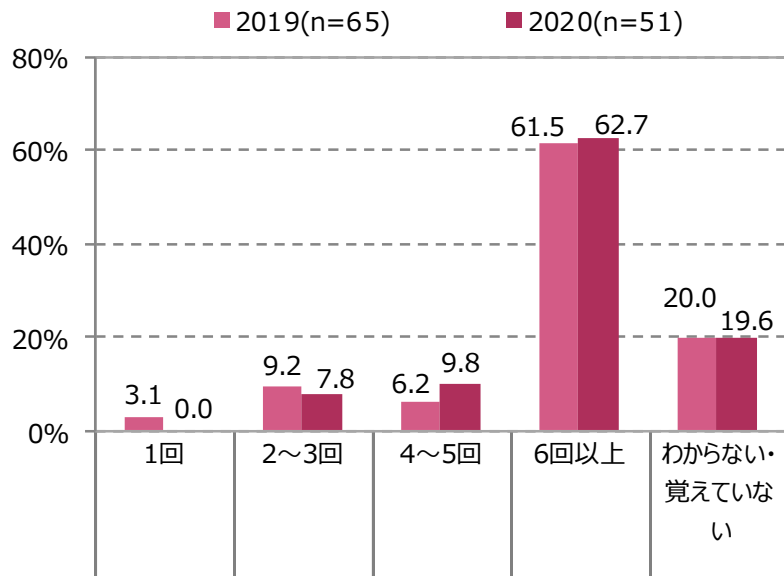
施設訪問理美容サービスのこれまでの利用回数は、経年で大きな変化はなく、2019年と同様に「6回以上」が6割強と最多。

利用頻度は2019年と同様に「2カ月に1回程度」が5割弱とボリュームゾーン。ただし、2015年から「1カ月に1回程度」と「2カ月に1回程度」が減少、「3カ月に1回程度」は増加と、全体的な利用頻度は低下傾向が続いている。

## 【介護・福祉施設】

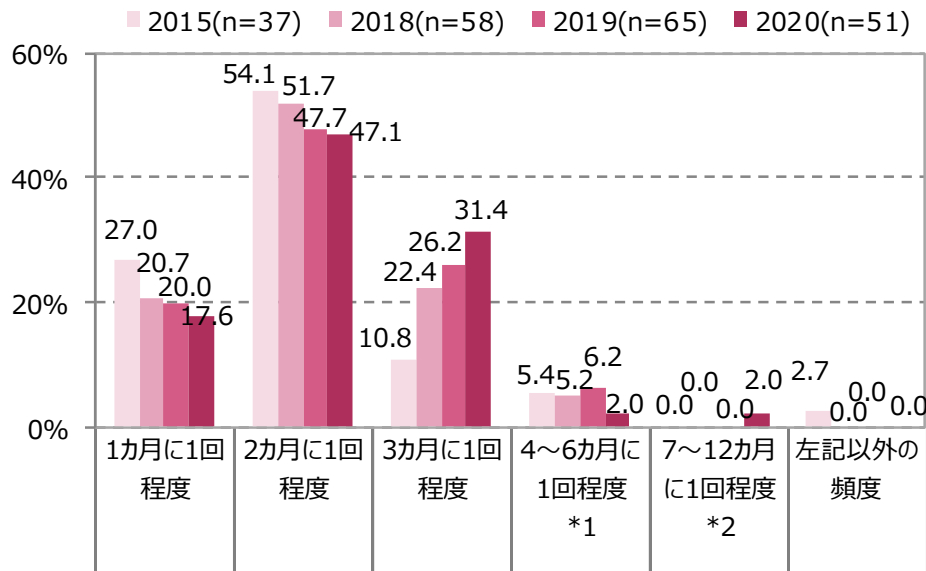
(※施設訪問理美容サービス利用者ベース)

### これまでの利用回数 (Q6)



### 利用頻度 (Q13\_1)

\*1:2018年以前は「半年に1回」 \*2:2018年以前は「1年に1回」



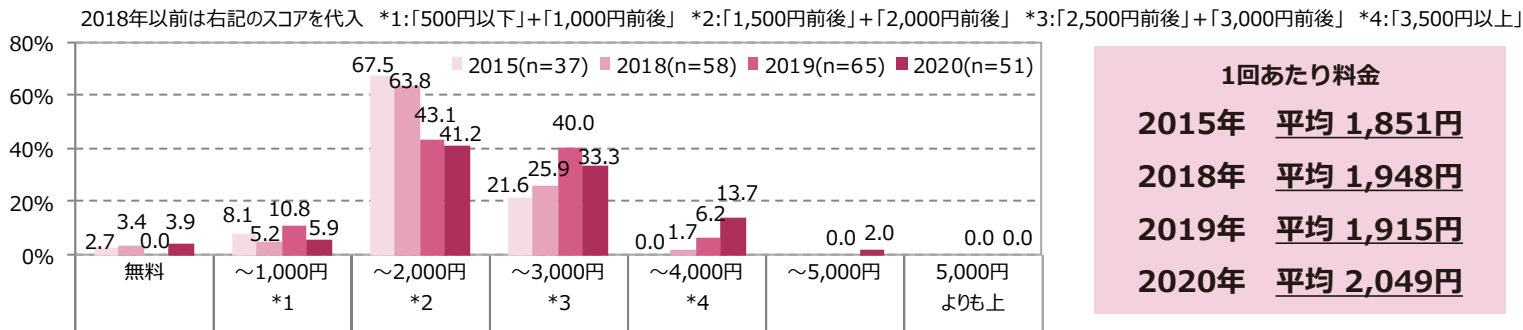
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

施設訪問理美容サービスの利用価格は「～2,000円」「～3,000円」がボリュームゾーン。「～4,000円」の高価格帯が増加傾向にあり、平均金額も今回初めて2,000円台に乗った。利用したことのあるメニューをみると、「カット」はほぼすべての利用者で経験あり。次いで「シャンプー」「カラー」「髭剃り・うぶげ剃り」「パーマ」が3～5割で続く。

## 【介護・福祉施設】

(※施設訪問理美容サービス利用者ベース)

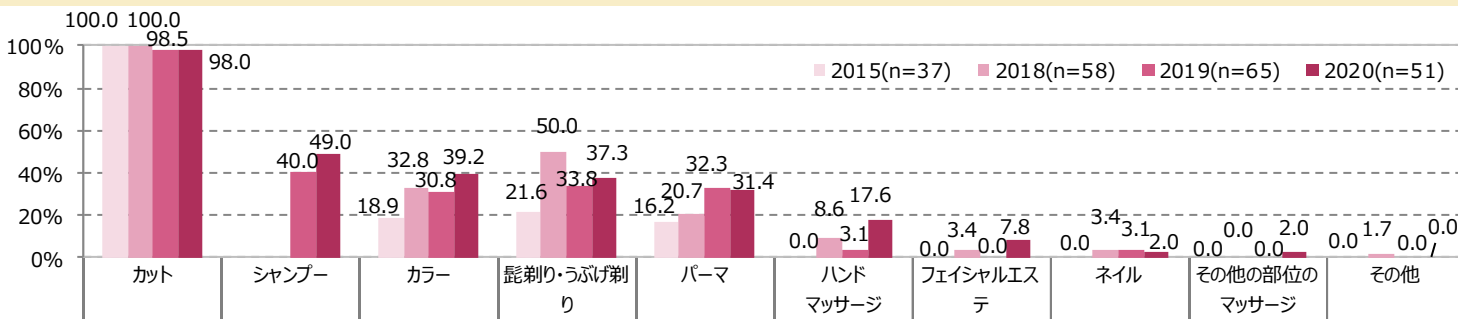
### 利用あたりのカット料金 (Q10\_1)



#### 1回あたり料金

2015年 平均 1,851円  
2018年 平均 1,948円  
2019年 平均 1,915円  
2020年 平均 2,049円

### 利用したことのあるメニュー (Q11\_1)

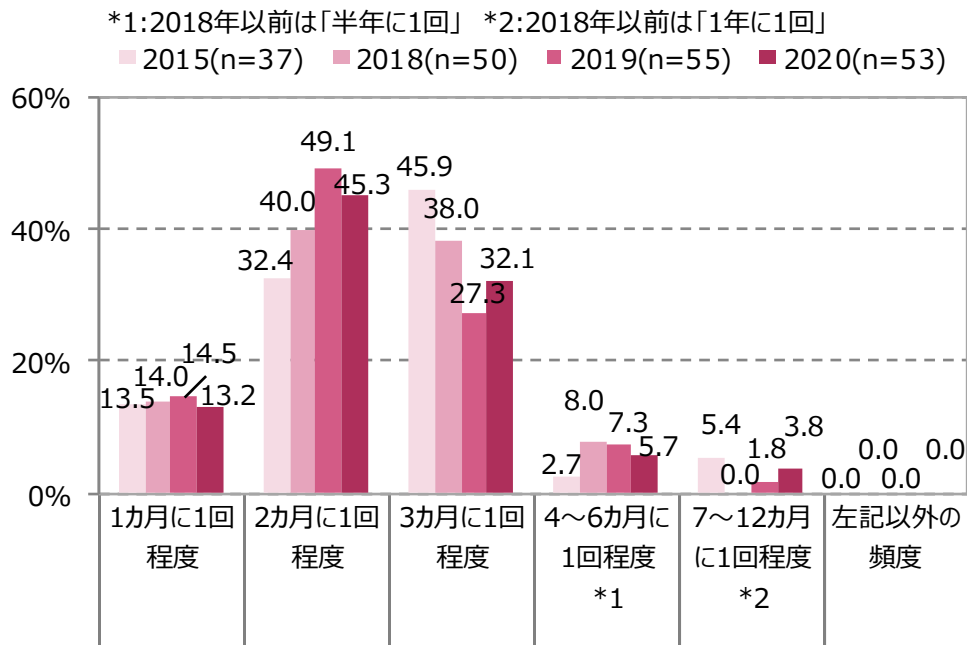


※2020年スコアで降順ソート

※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

在宅訪問理美容サービスの利用頻度は「2カ月に1回程度」が4割半ばと最も多く、「3カ月に1回程度」が3割強で続く。

【在宅】利用頻度 (Q13\_2)  
(※在宅訪問理美容サービス利用者ベース)



※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

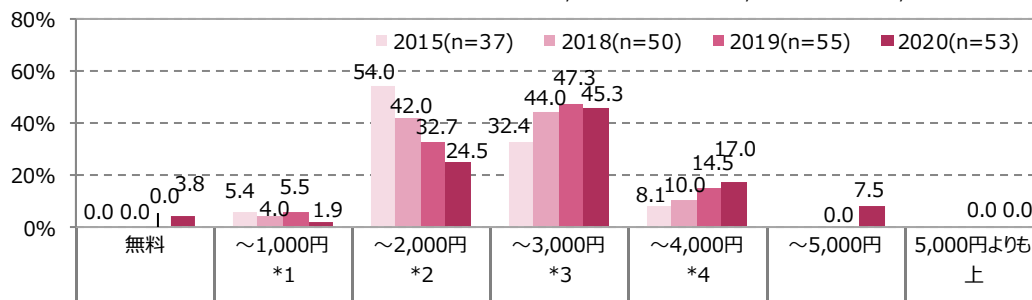
在宅訪問理美容サービスの価格は「～3,000円」が4割半ばで最も多く、平均額は2,443円。利用したことのあるメニューで「カット」の利用率はいずれの年度でも100%。「髭剃り・うぶげ剃り」の利用が年々増加している。

## 【在宅】

(※在宅訪問理美容サービス利用者ベース)

### 利用あたりのカット料金 (Q10\_2)

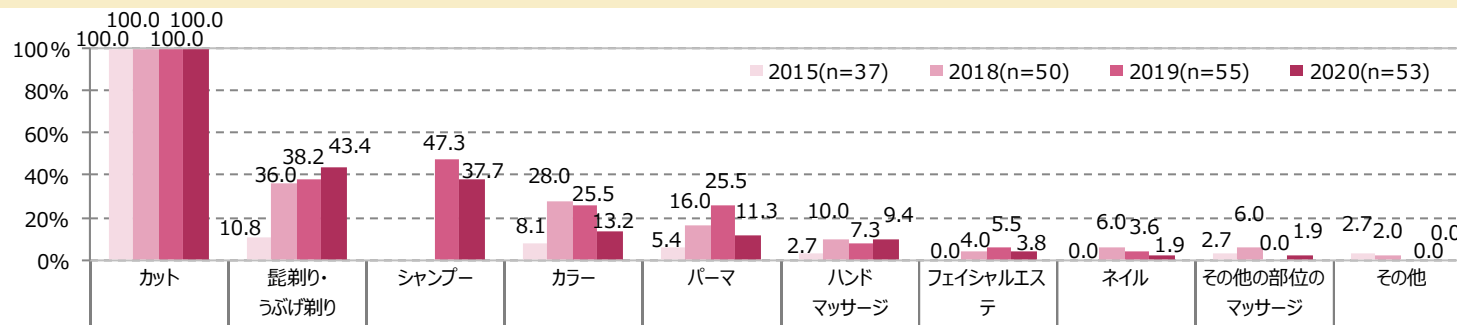
2018年以前は右記のスコアを代入 \*1:「500円以下」+「1,000円前後」 \*2:「1,500円前後」+「2,000円前後」 \*3:「2,500円前後」+「3,000円前後」 \*4:「3,500円以上」



### 1回あたり料金

2015年	平均 2,270円
2018年	平均 2,380円
2019年	平均 2,209円
2020年	平均 2,443円

### 利用したことのあるメニュー (Q11\_3)



※2020年スコアで降順ソート

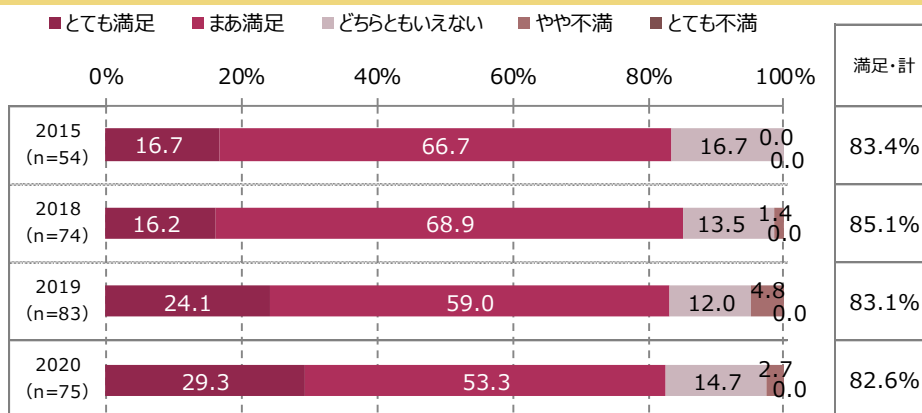
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

# A 訪問理美容サービスへの満足度①

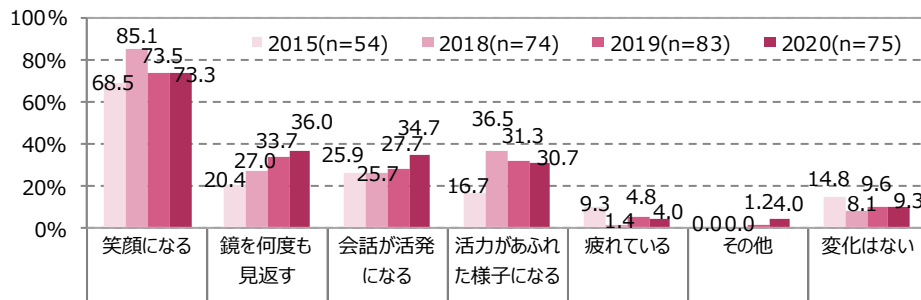
ケア  
マネージャー

サービスに対しては過去調査と同様に8割強が満足しており、不満層はほぼいない。また、2018年以降は「とても満足」と強い満足感を得ている層が増加傾向にある。サービスを受けた後の変化は「笑顔になる」が7割強で最も高い。「鏡を何度も見返す」が増加傾向。サービスが被介護者に良い効果を与えていると思う人は約9割に達する。「とてもそう思う」が増加した。

サービスの満足度 (Q14)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)

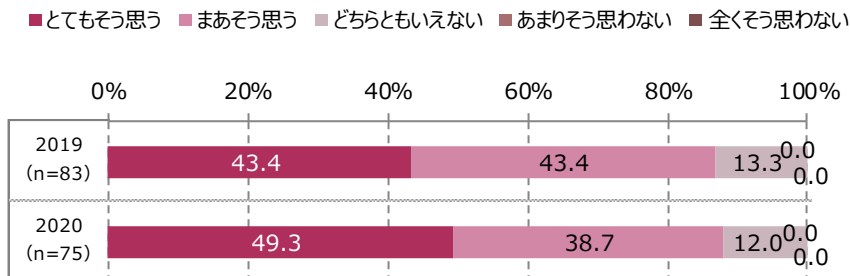


サービスを受けた後の変化 (Q18)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)



効果実感 (Q19)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)

Q.訪問理美容サービスを利用することは、あなたが支援・介護を提供されている方に何かしらの良い効果を与えていると思いますか。



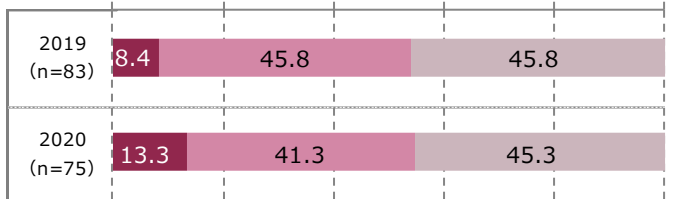
※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート  
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

# A 訪問理美容サービスへの満足度②

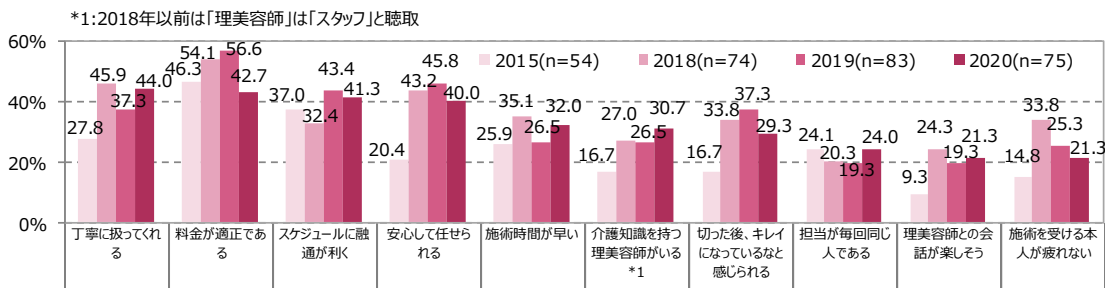
ケア  
マネージャー

利用会社を「変更したい」人は1割強にとどまっており、基本的には今の会社で満足している様子。満足ポイントは、「丁寧に扱ってくれる」「料金が適正である」「スケジュールに融通が利く」「安心して任せられる」が4割台で上位にあがる。不満ポイントでは「料金が高い」「メニュー（サービス）が少ない」「スケジュールに融通が利かない」「介護知識を持つ理美容師がいない」「切った髪型が気に入らない」などが1割前後となっている。

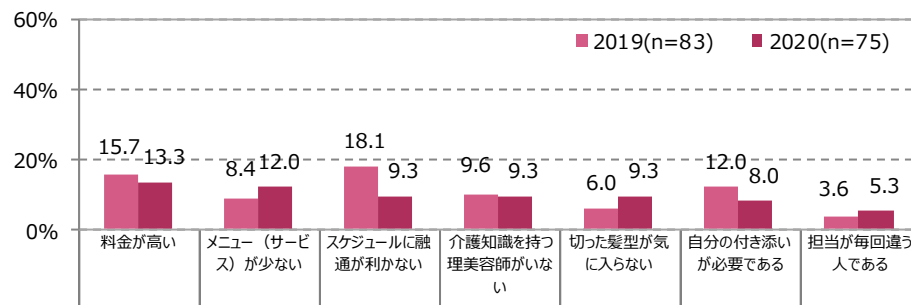
## 利用会社の変更意向 (Q17) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



## 満足ポイント・TOP10 (Q15) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



## 不満ポイント (Q16) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

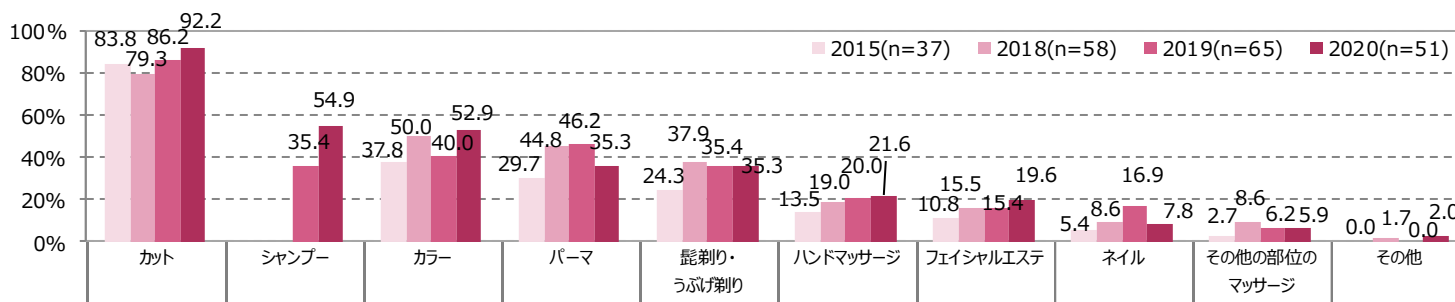
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

※不満ポイントは2020年で5.0%以上のものを記載

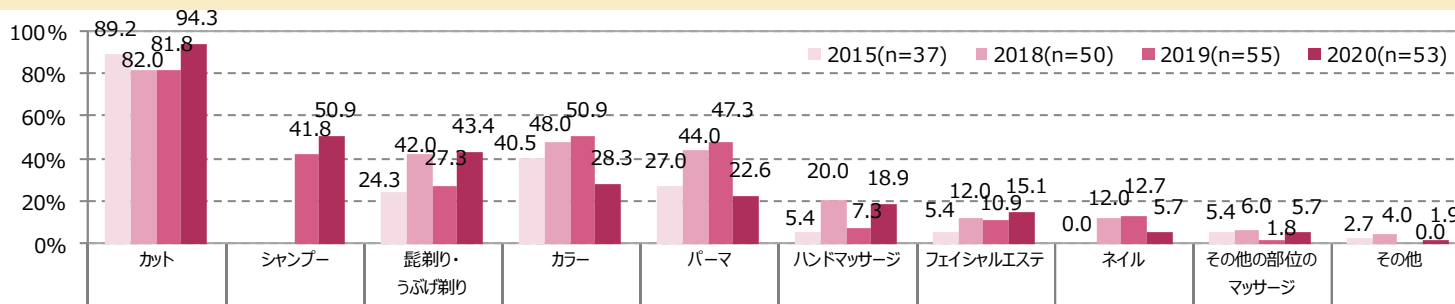
今後利用してみたいメニューは、過去調査と同様に施設・在宅ともに「カット」が最多。2019年に比べ施設・在宅ともに「カット」「シャンプー」「フェイシャルエステ」「ハンドマッサージ」などの比較的手間がかからない施術・サブメニューの要望が高くなっており、反対に「パーマ」など時間がかかるような施術はスコアが低下。コロナ禍で接触時間を減らしたい意識が出ている可能性がある。

## 今後利用してみたいメニュー (Q11\_2,4) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護・福祉施設で利用したいメニュー



### 在宅で利用したいメニュー

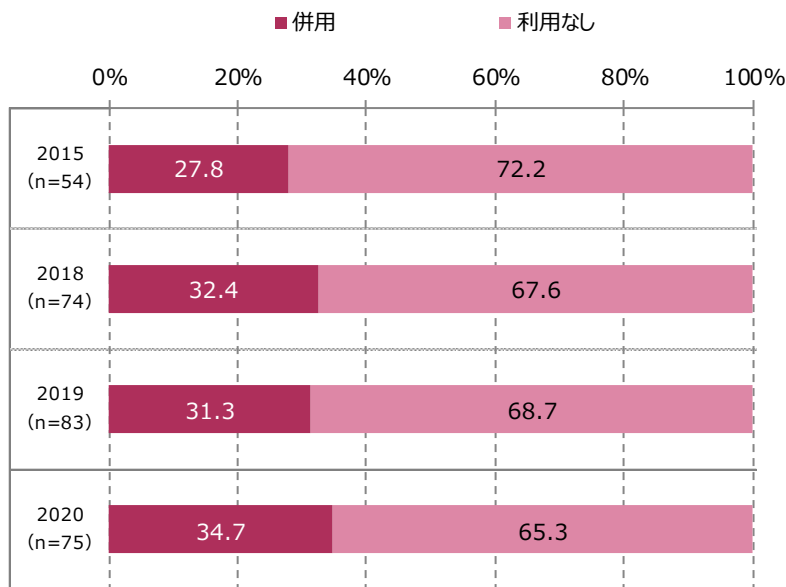


※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

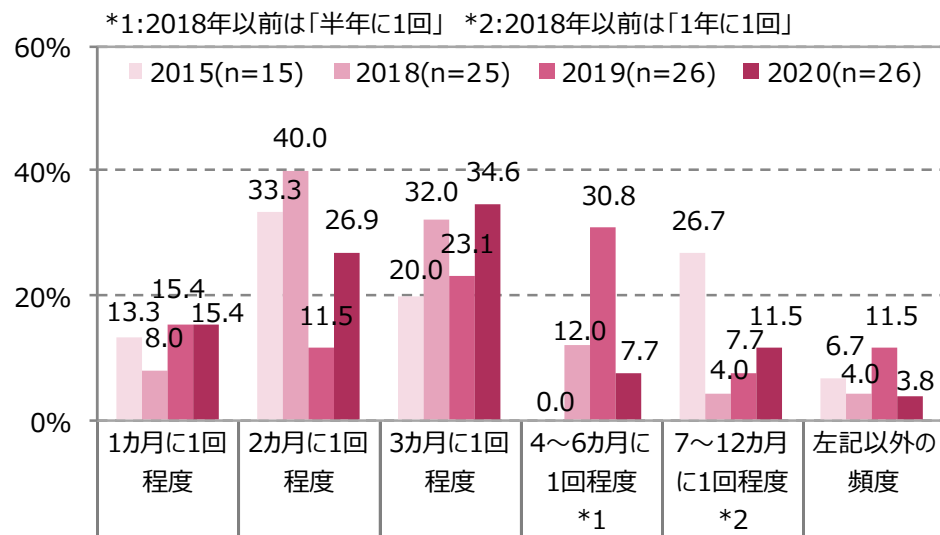
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

理美容室の併用は3割半ばで、2019年から大きな変化はない。  
併用者の理美容室利用頻度は「3カ月に1回程度」が最も多い（n < 30のため参考値）。

理美容室の併用状況 (Q12)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)



理美容室利用頻度 (Q13\_3)  
(※訪問理美容サービスと理美容室併用者ベース)

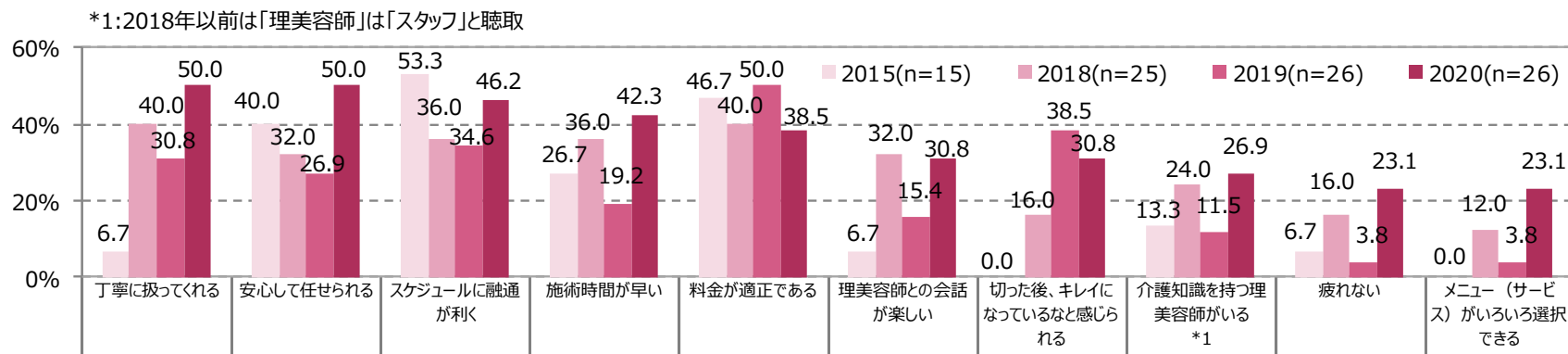


※ n < 30のスコアは参考値  
※ ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります



理美容室の満足ポイントは「丁寧に扱ってくれる」「安心して任せられる」が最多（n < 30のため参考値）。

## 理美容室の満足ポイント・TOP10 (Q21) (※訪問理美容サービスと理美容室併用者ベース)



※ n < 30のスコアは参考値

※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

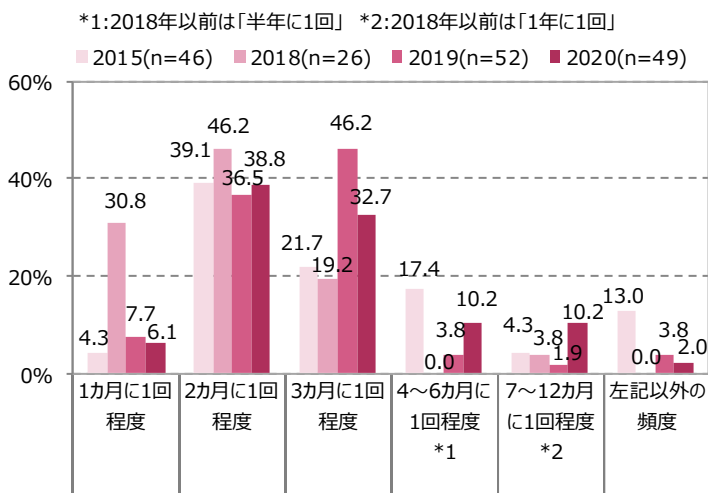
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

# A 訪問理美容サービス非利用者の理美容室利用状況

ケア  
マネージャー

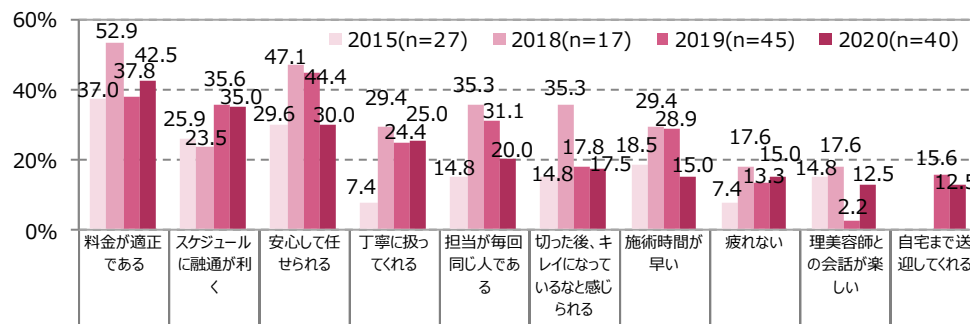
訪問理美容サービス非利用者の髪を切る頻度は「2~3カ月に1回程度」。  
理美容室の満足ポイントは「料金が適正である」が最多。  
理美容室で困っていることでは「理美容室まで行くのが疲れる」「介護用の対応になっていない（バリアフリーでないなど）」が大幅に減少。理美容室のバリアフリー化の浸透が進んでいそう。

## 髪を切る頻度 (Q20) (※訪問理美容サービス非利用者ベース)

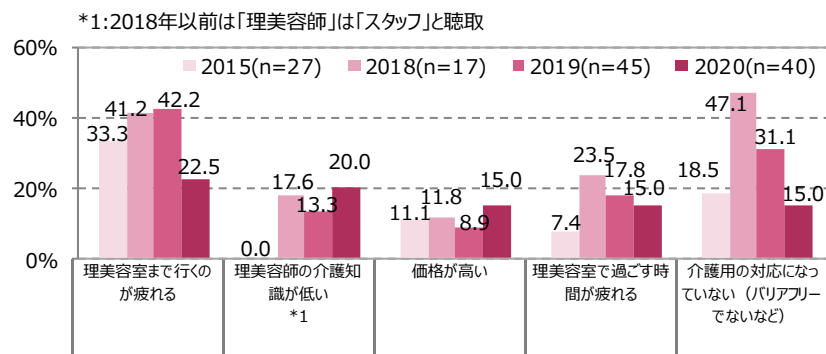


※ n < 30のスコアは参考値  
※頻度以外の縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート  
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

## 理美容室の満足ポイント・TOP10 (Q21) (※訪問理美容非利用かつ理美容室利用ベース)

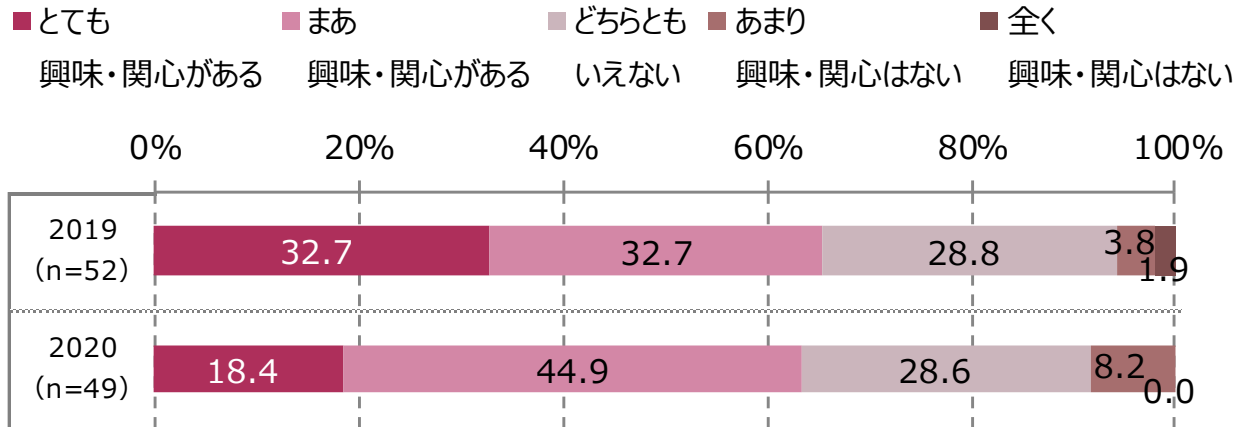


## 理美容室で困っていること・TOP5 (Q22) (※訪問理美容非利用かつ理美容室利用ベース)



訪問理美容サービスの非利用者のうち、要介護・支援者ご本人が理美容・身だしなみへの興味・関心がある人は2019年同様に6割強を占める。ただし「とても興味・関心がある」は大きく減少した。

## ご本人の理美容・身だしなみへの興味 (Q27) (※訪問理美容サービス非利用者ベース)



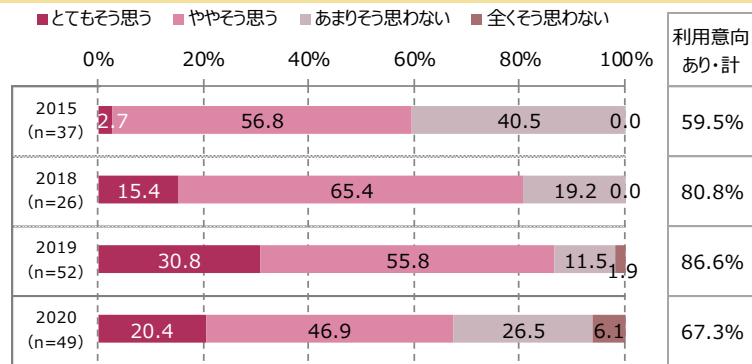
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

# A 非利用者の訪問理美容サービスの利用可能性②

ケア  
マネージャー

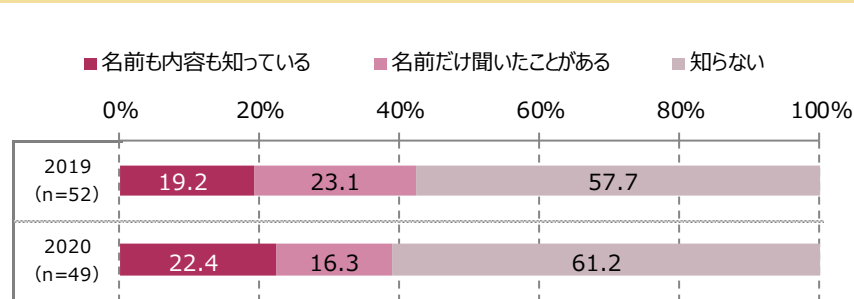
訪問理美容サービス非利用者のうち、「利用意向・あり計」は2019年に比べ大幅に減少し、今回は67.3%。理美容チケットの認知者は4割弱。訪問理美容サービスの非利用意向理由として「お金がかかる・かかりそう」が最多（n<30のため参考値）。

訪問理美容サービス利用意向 (Q23)  
(※訪問理美容サービス非利用者ベース)

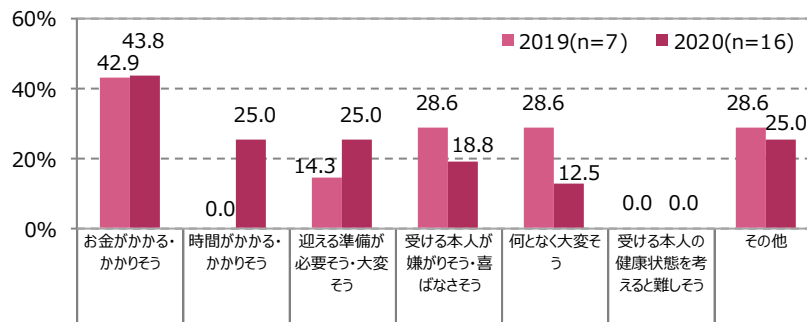


※2015年は訪問理美容サービスについて認知かつ非利用者ベース

理美容チケットの認知 (Q26)  
(※訪問理美容サービス非利用者ベース)



訪問理美容サービス利用意向なしの理由 (Q24)  
(※訪問理美容サービス非利用かつ利用意向なしベース)



※ n < 30のスコアは参考値

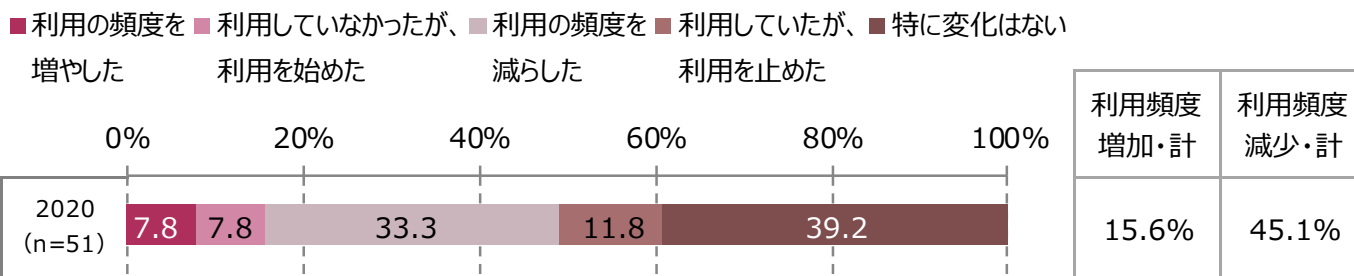
※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

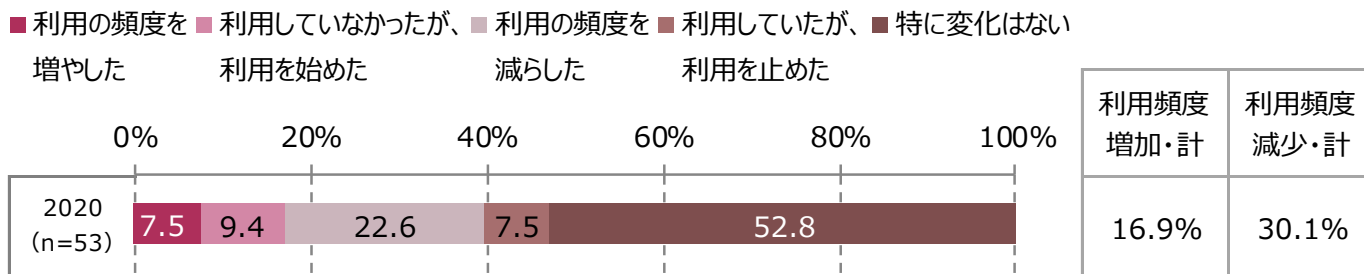
施設・在宅ともに、訪問理美容サービスの「利用頻度減少・計」が「利用頻度増加・計」を上回っており、コロナ禍で全体的に頻度はやや減少傾向にあるといえる。

## コロナ禍における訪問理美容サービスの利用変化 (Q28\_1,2) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護・福祉施設でのサービス利用変化



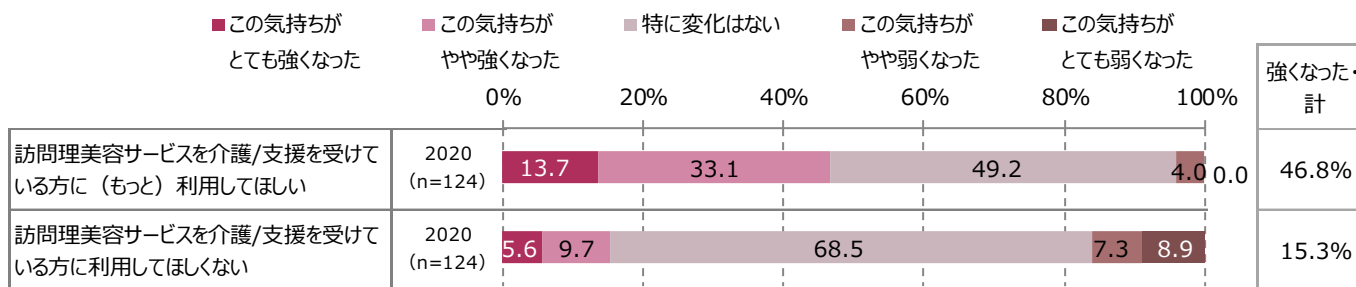
### 在宅でのサービス利用変化



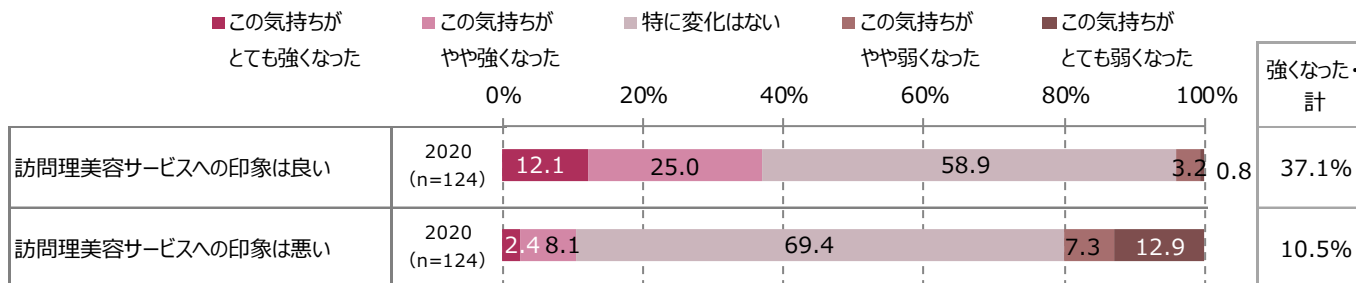
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります

訪問理美容サービスについて、要支援・要介護者に「利用してほしい」気持ちの方が「利用してほしくない」よりも圧倒的に強まっている。  
印象も、「印象は良い」というポジティブなイメージの方が、「印象が悪い」というネガティブなイメージよりも強まっている。

## コロナ禍における訪問理美容サービス利用要望 (Q29\_1,2) (※ケアマネージャー全体ベース)



## コロナ禍における訪問理美容サービスの印象変化 (Q29\_3,4) (※ケアマネージャー全体ベース)



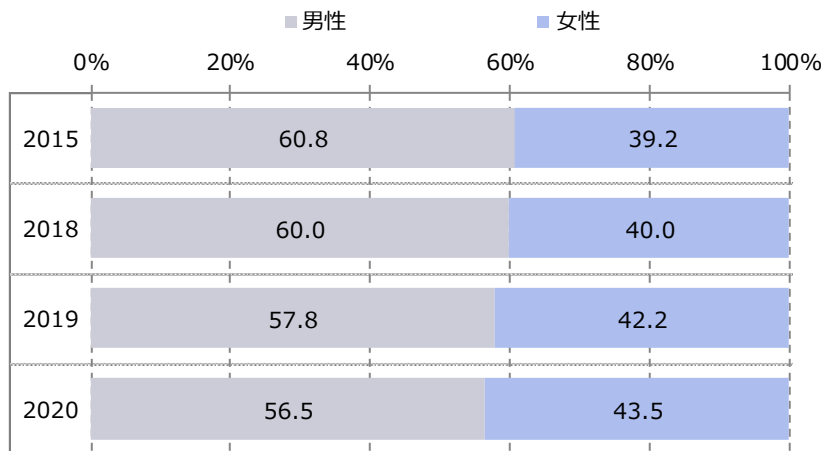
※ケアマネージャーは、複数の方を担当している場合があります



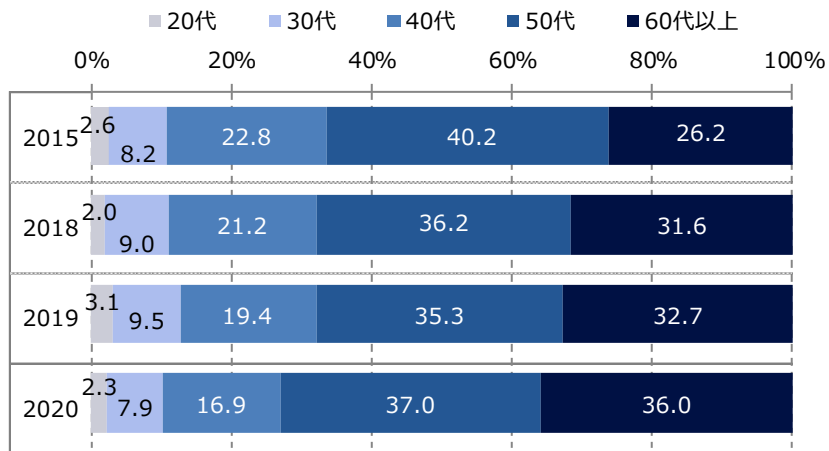
# ご家族編

## 要支援・要介護者と同居されているご家族 (2015/2018 n=500、2019 n=1,855、2020 n=1,938)

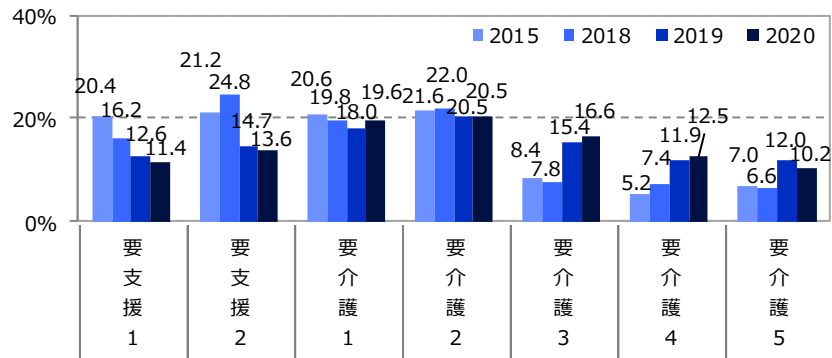
### 性別



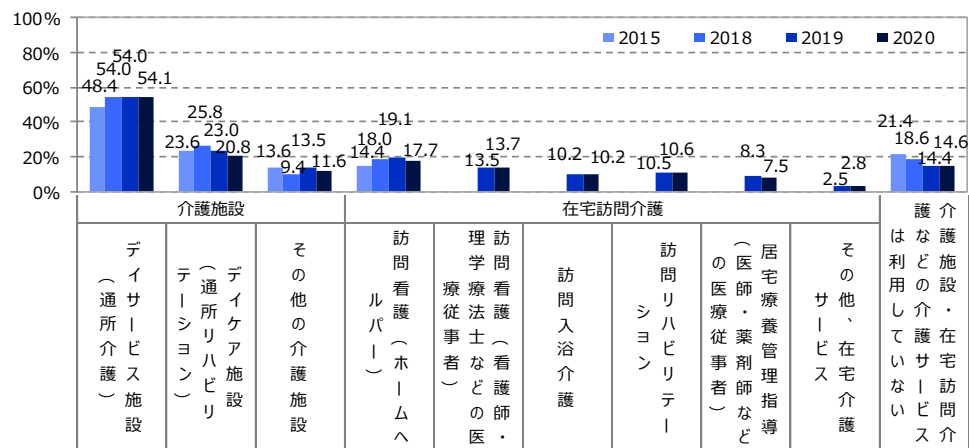
### 年齢



### 担当介護レベル



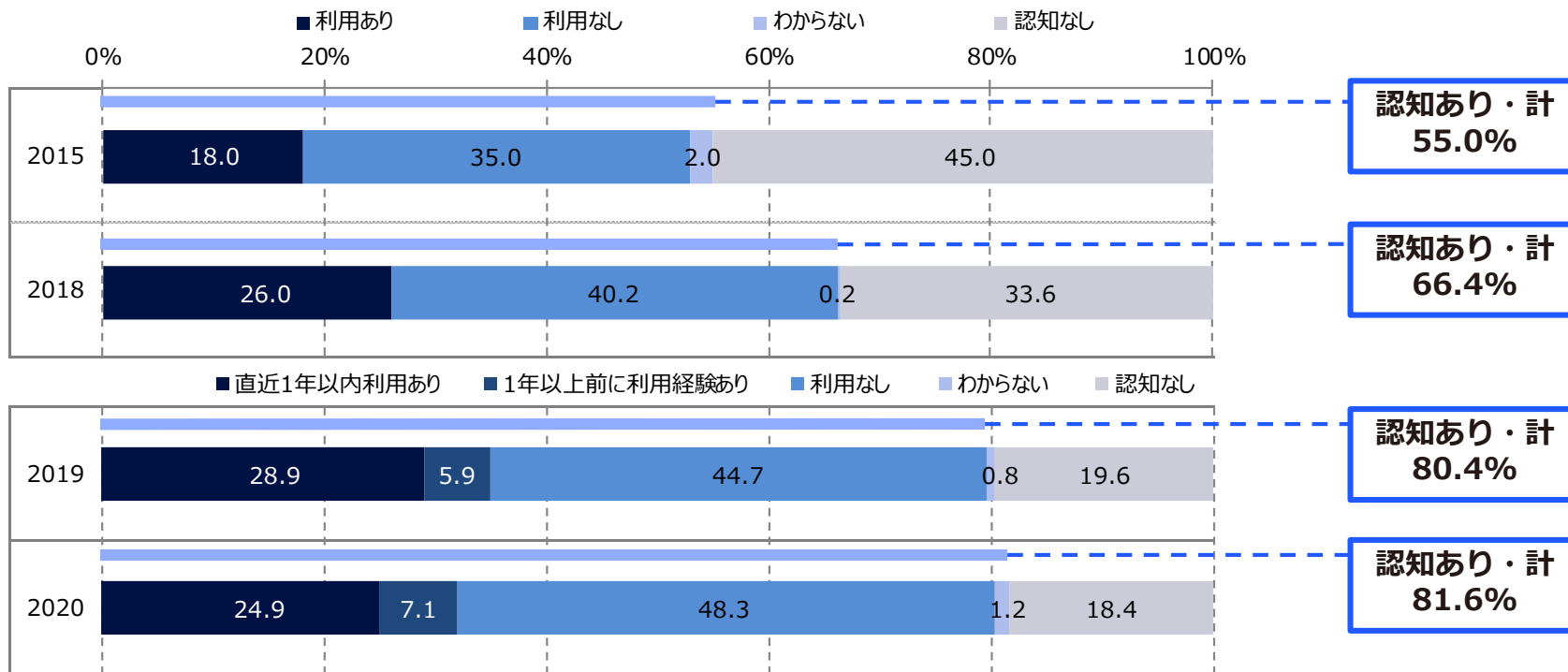
### 担当介護支援場所





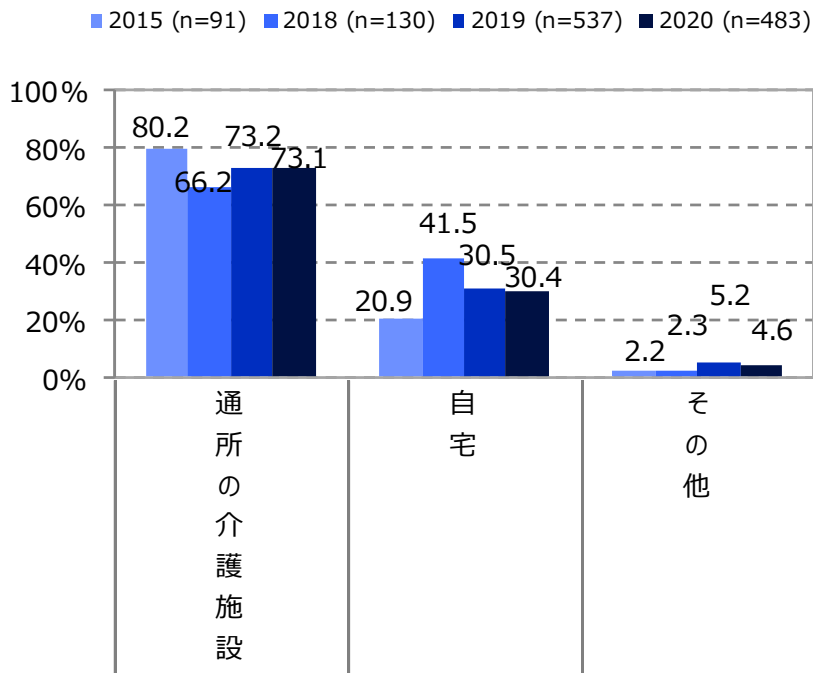
訪問理美容サービスの認知率は約8割と、2019年とほぼ同レベル。  
ご家族に利用経験者がいる割合も32.0%（直近1年以内利用あり+1年以上前に利用経験あり）と、2019年からはほぼ変化なし。

訪問理美容サービスの認知、訪問理美容サービスの利用 (Q2、Q3) (2015/2018 n=500、2019 n=1,855、2020 n=1,938)

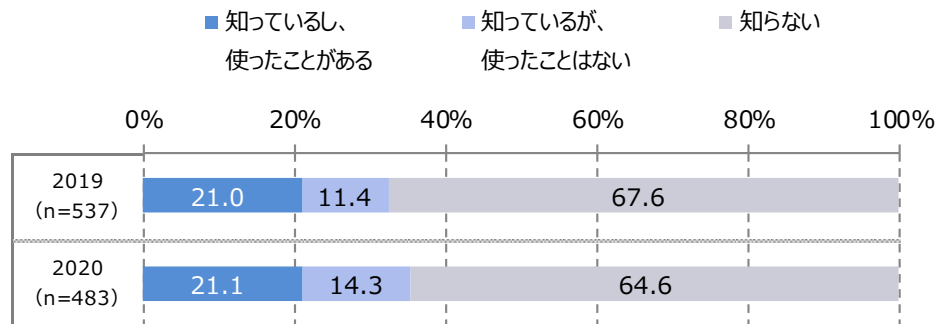


訪問理美容サービスの利用場所は「通所の介護施設」が7割強と最多で、「自宅」は3割程度。理美容チケットの認知者は、訪問理美容サービス利用者のうち3割半ば。また、理美容チケット利用経験者は訪問理美容サービス利用者のうち約2割と昨年からはほぼ変化しておらず、まだまだ浸透は進んでいない。

訪問理美容サービスの利用場所 (Q5)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)



理美容チケットの認知・利用状況 (Q25)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)

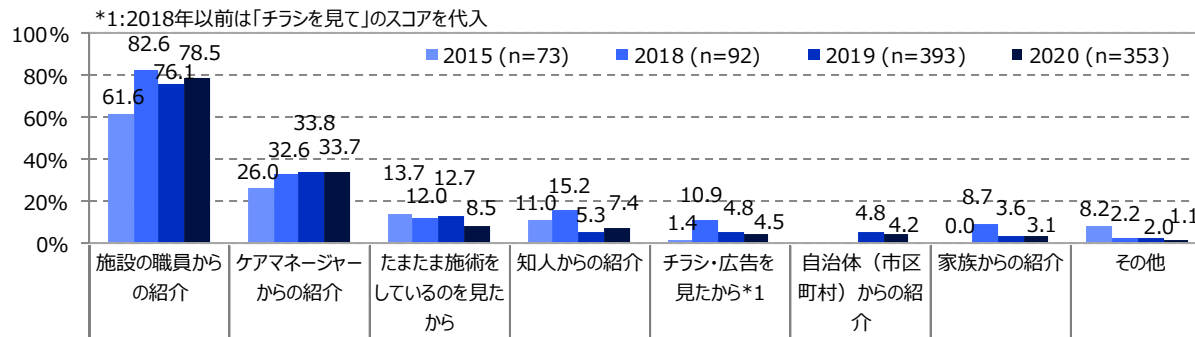


施設での利用きっかけは2019年から大きなスコアの変化はなく、「施設の職員からの紹介」が前回同様トップ。

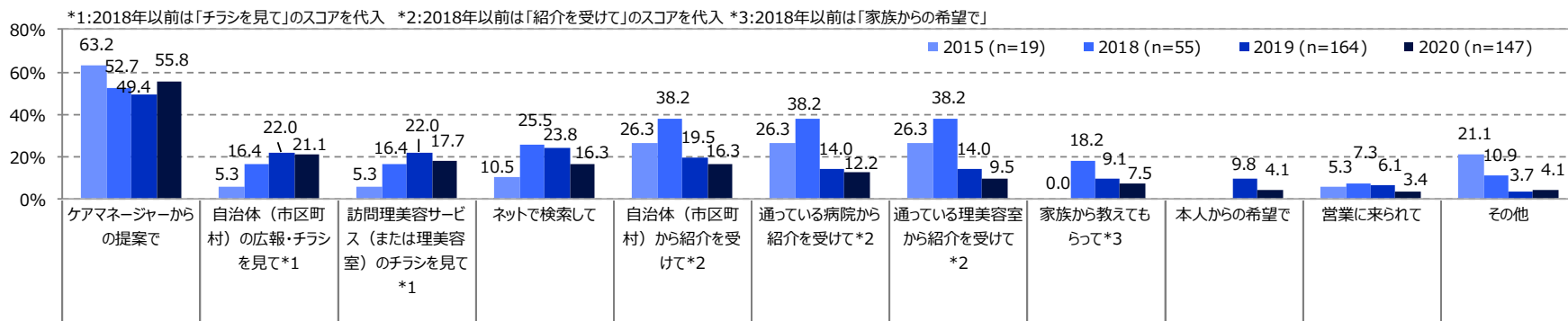
在宅での認知きっかけは「ケアマネージャーからの提案で」が前回同様トップにあがった。それ以外の項目は、2019年に比べやや減少した。

## 訪問理美容サービスの利用のきっかけ (Q7, Q8) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護施設で訪問理美容サービスを利用しはじめたきっかけ



### 在宅での訪問理美容サービスを知ったきっかけ



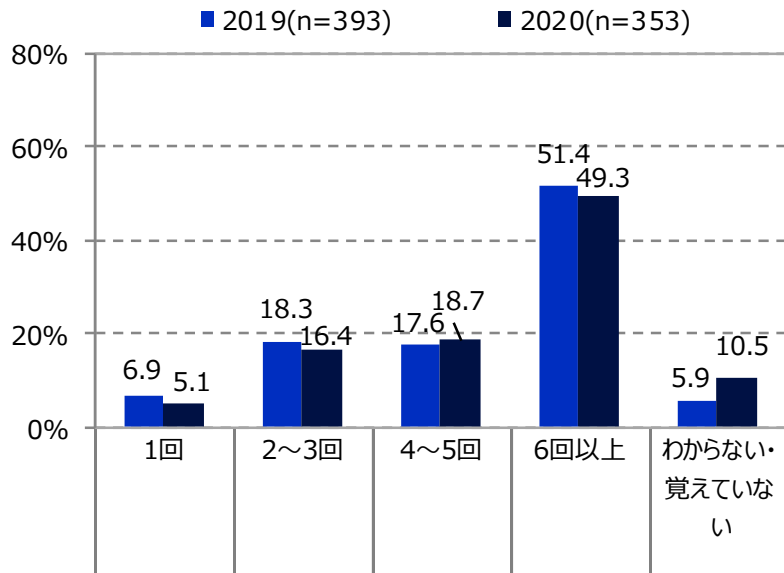
※ n < 30のスコアは参考値 ※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

施設訪問理美容サービスの利用回数は「6回以上」が約5割と最も多い。利用頻度は「2カ月に1回程度」が約4割で最多。次いで「3カ月に1回程度」が3割で続く。経年でみると「1カ月に1回程度」が低下しており、全体的に頻度は増加傾向にある。

## 【介護・福祉施設】

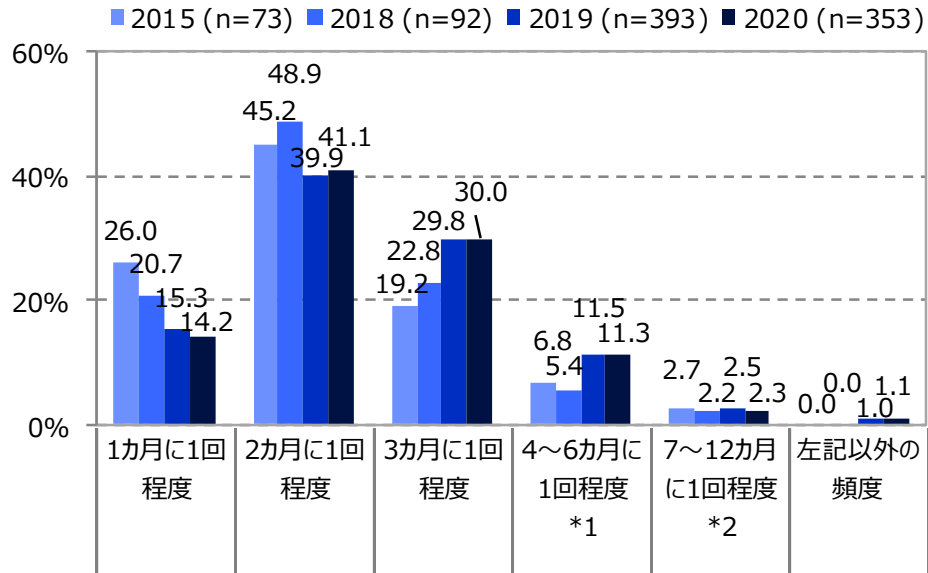
(※施設訪問理美容サービス利用者ベース)

### これまでの利用回数 (Q6)



### 利用頻度 (Q13\_1)

\*1:2018年以前は「半年に1回」 \*2:2018年以前は「1年に1回」



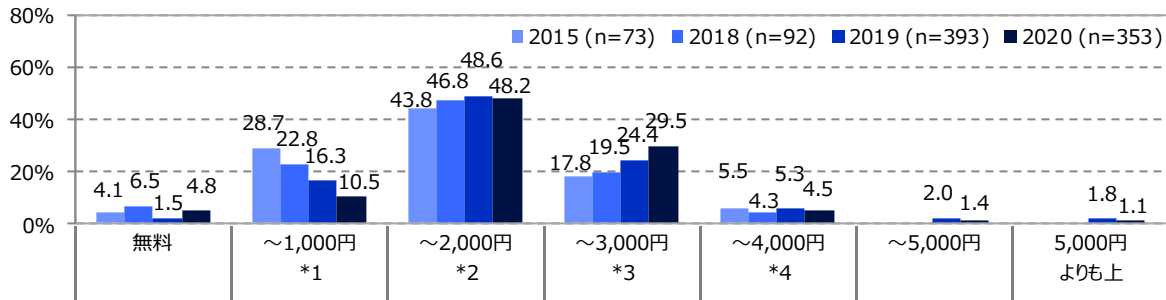
施設訪問理美容サービスのカット料金の平均は1,700円台と、2015年からほとんど変わらない。利用したことのあるメニューでは、ほぼ全員が利用している「カット」の次に、「シャンプー」が5割弱と高い。

## 【介護・福祉施設】

(※施設訪問理美容サービス利用者ベース)

### 利用あたりのカット料金 (Q10\_1)

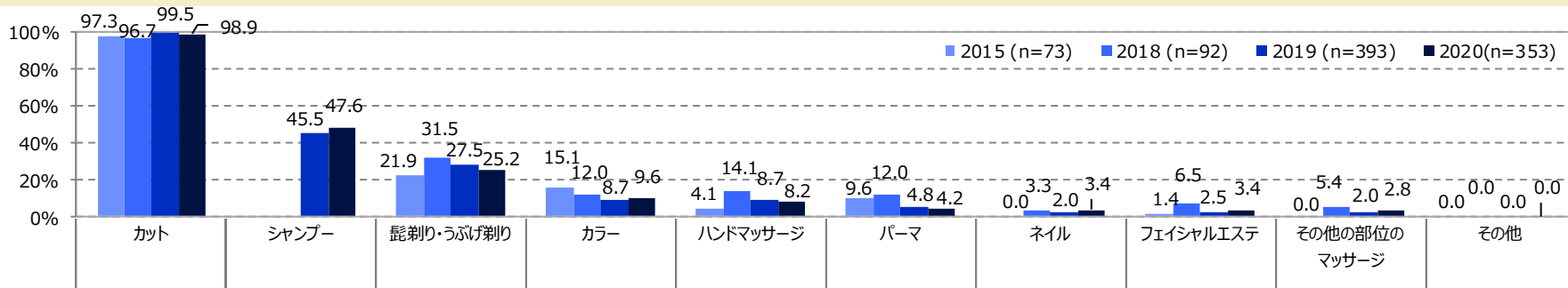
2018年以前は右記のスコアを代入 \*1:「500円以下」+「1,000円前後」 \*2:「1,500円前後」+「2,000円前後」 \*3:「2,500円前後」+「3,000円前後」 \*4:「3,500円以上」



#### 1回あたり料金

2015年	平均 1,726円
2018年	平均 1,712円
2019年	平均 1,798円
2020年	平均 1,796円

### 利用したことのあるメニュー (Q11\_1)



※2020年スコアで降順ソート

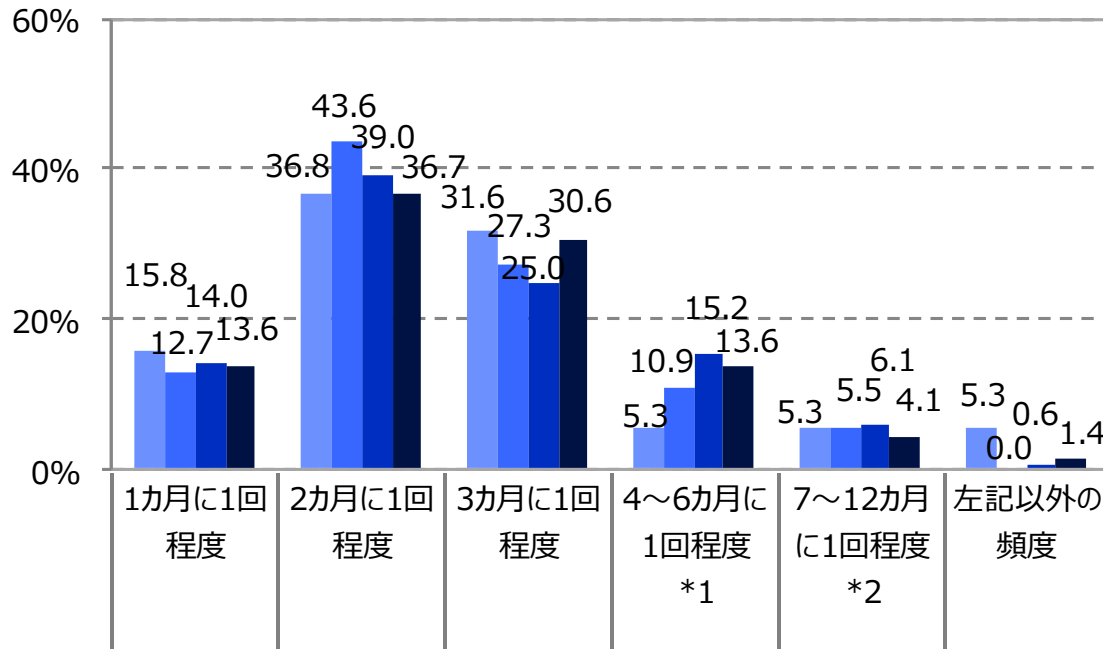
在宅訪問理美容サービスの利用頻度は「2カ月に1回程度」が3割半ばで最多、次いで「3カ月に1回程度」が続いており、2～3カ月に1回程度の定期利用者がボリュームゾーン。  
2019年に比べ「3カ月に1回程度」が増加。

## 【在宅】利用頻度 (Q13\_2)

(※在宅訪問理美容サービス利用者ベース)

\*1:2018年以前は「半年に1回」 \*2:2018年以前は「1年に1回」

■ 2015 (n=19) ■ 2018 (n=55) ■ 2019 (n=164) ■ 2020 (n=147)



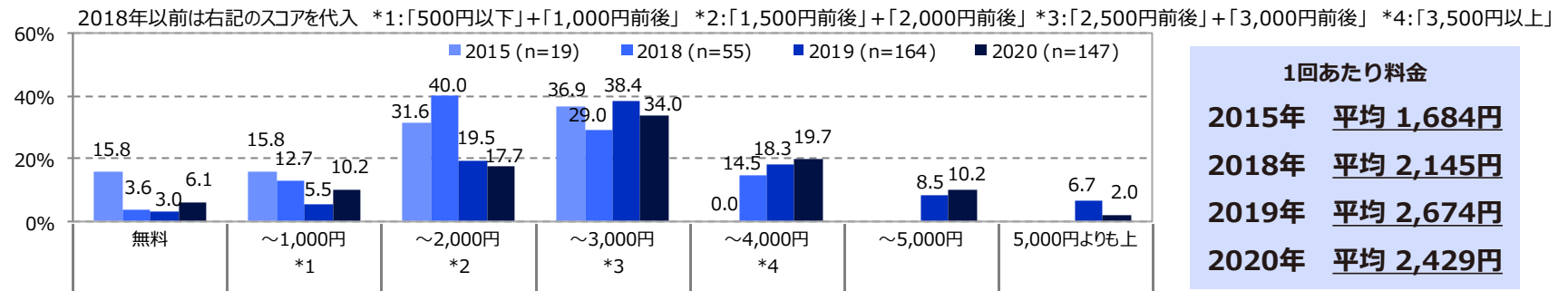
※ n < 30のスコアは参考値

在宅訪問理美容サービスのカット料金の平均は2,429円。2019年に比べやや低下した。利用したことのあるメニューでは、ほぼ全員が利用している「カット」に次いで、「シャンプー」が4割強と高い。

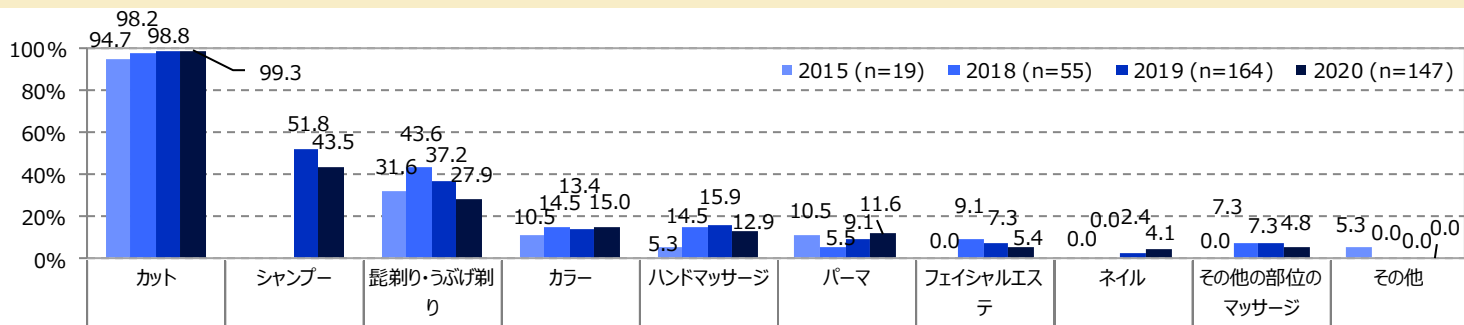
## 【在宅】

(※在宅訪問理美容サービス利用者ベース)

### 利用あたりのカット料金 (Q10\_2)



### 利用したことのあるメニュー (Q11\_3)



※2020年スコアで降順ソート

※n < 30のスコアは参考値

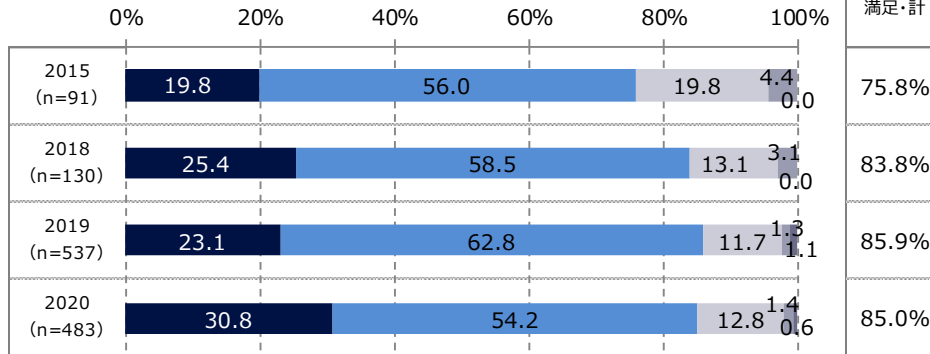
サービスに対しては2019年と同様に8割台半ばが満足している。2019年よりも「とても満足」と強い満足感を覚える層が増加した。

サービスを受けた後の変化は「笑顔になる」が約5割で最も高い。

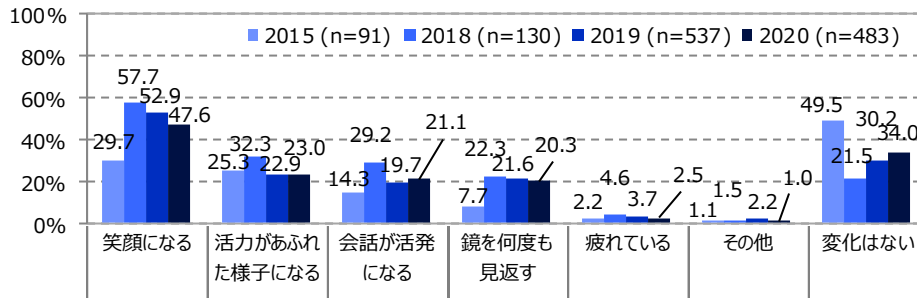
サービス利用によって要介護・支援者への効果を実感している人は8割台半ばを占める。

## サービスの満足度 (Q14) (※訪問理美容サービス利用者ベース)

■とても満足 ■まあ満足 ■どちらともいえない ■やや不満 ■とても不満



## サービスを受けた後の変化 (Q18) (※訪問理美容サービス利用者ベース)

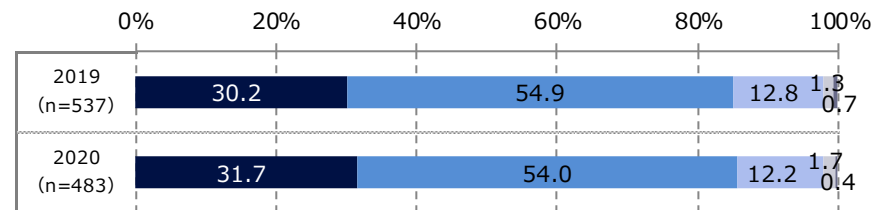


## 効果実感 (Q19)

(※訪問理美容サービス利用者ベース)

Q.訪問理美容サービスを利用することは、支援・介護を受けているあなたのご家族の方に何かしらの良い効果を与えていると思いますか。

■とてもそう思う ■まあそう思う ■どちらともいえない ■あまりそう思わない ■全くそう思わない

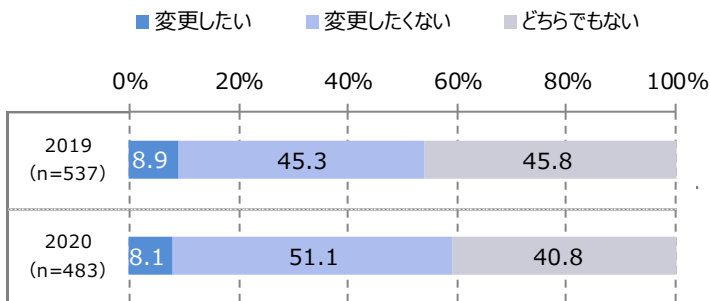


※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

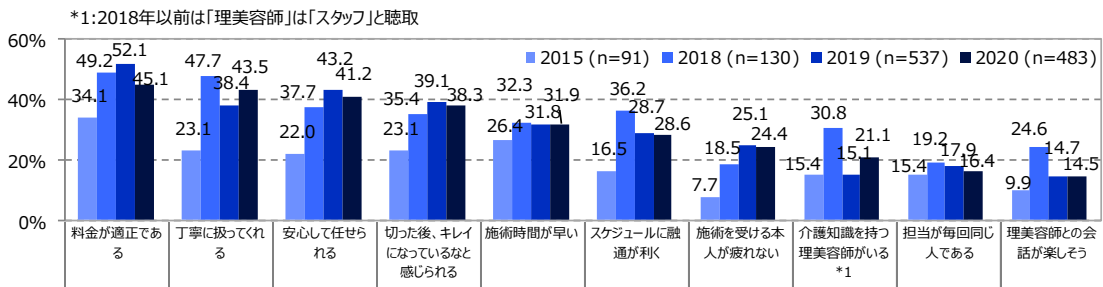


利用会社を「変更したい」ご家族は1割弱に留まっており、基本的に今の会社を使い続けるつもり。主な満足ポイントとして「料金が適正である」「丁寧に扱ってくれる」「安心して任せられる」が4割台で上位にあがる。不満ポイントとして「料金が低い」「スケジュールに融通が利かない」などが1割程度みられる。

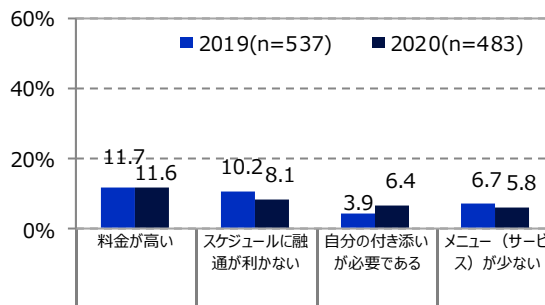
## 利用会社の変更意向 (Q17) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



## 満足ポイント・TOP10 (Q15) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



## 不満ポイント (Q16) (※訪問理美容サービス利用者ベース)



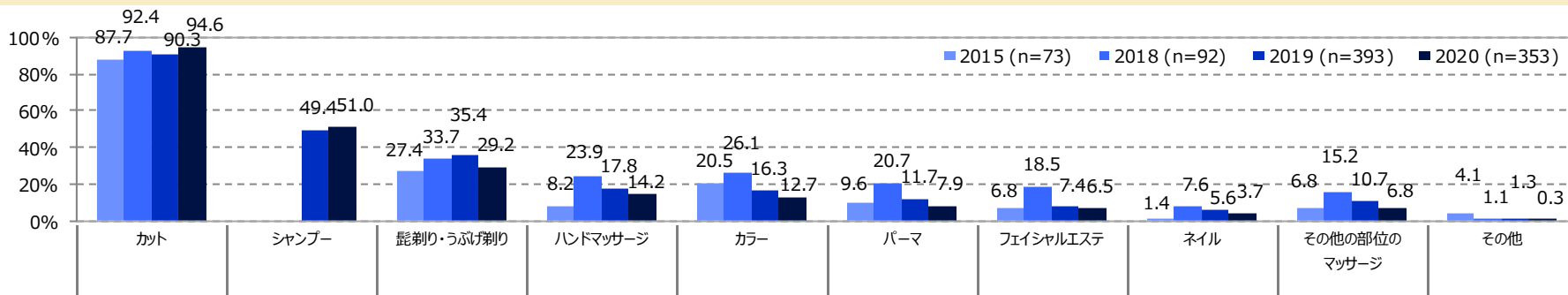
※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

※不満ポイントは2020年で5.0%以上のものを記載

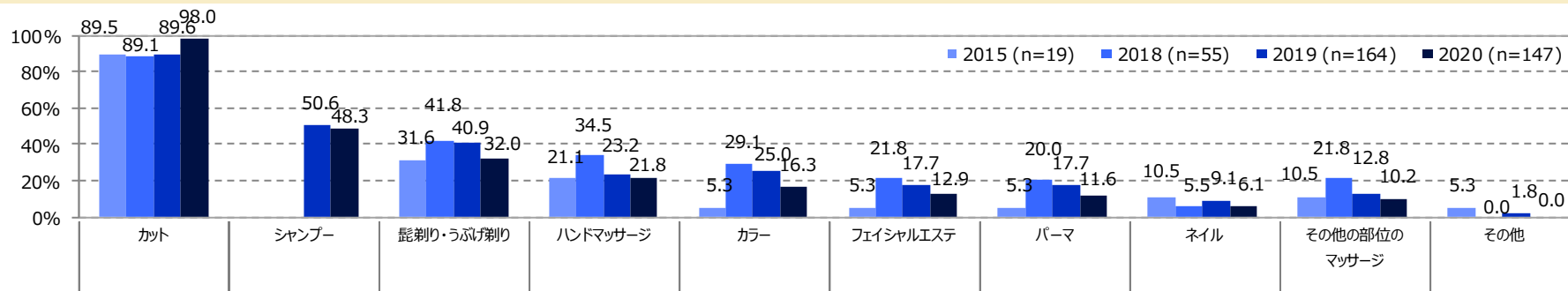
今後利用してみたいメニューは施設・在宅ともに「カット」が最多。以下「シャンプー」「髭剃り・うぶげ剃り」と、施設・在宅ともに同じメニューが続く。

## 今後利用してみたいメニュー (Q11\_2,4) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護・福祉施設で利用したいメニュー



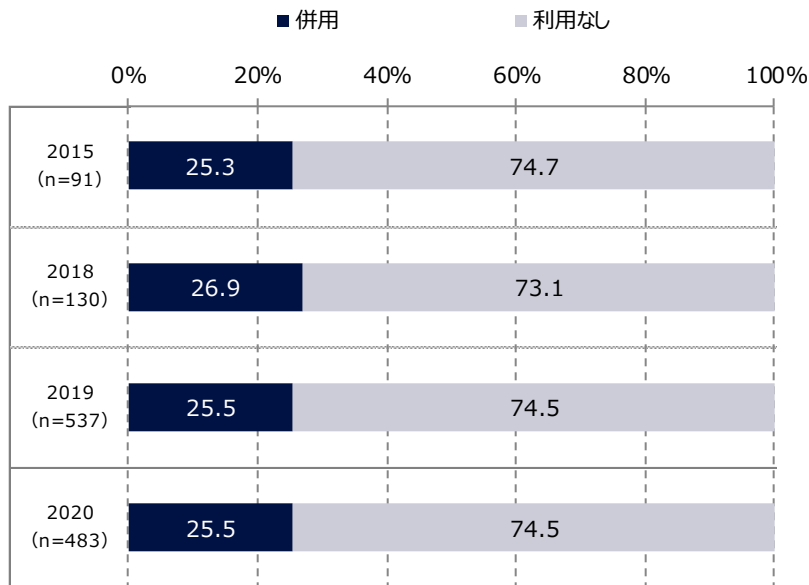
### 在宅で利用したいメニュー



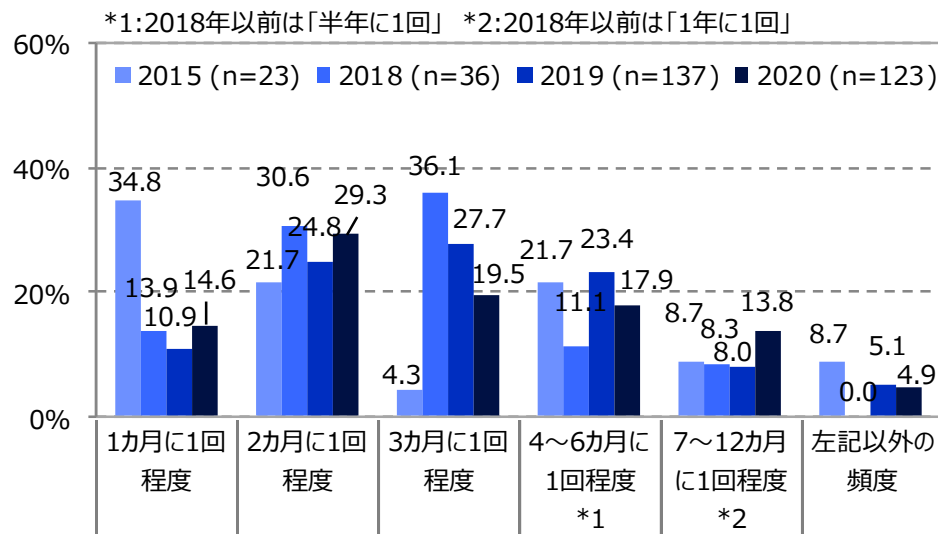
※ n < 30のスコアは参考値  
※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

理美容室の併用は2割半ばで、経年でみてもほぼ変化なし。  
併用者の理美容室利用頻度をみると「2カ月に1回程度」が3割弱と最も多く、「3カ月に1回程度」「4～6カ月に1回程度」が2割弱で続く。

理美容室の併用状況 (Q12)  
(※訪問理美容サービス利用者ベース)



理美容室利用頻度 (Q13\_3)  
(※訪問理美容サービスと理美容室併用者ベース)



※ n < 30のスコアは参考値

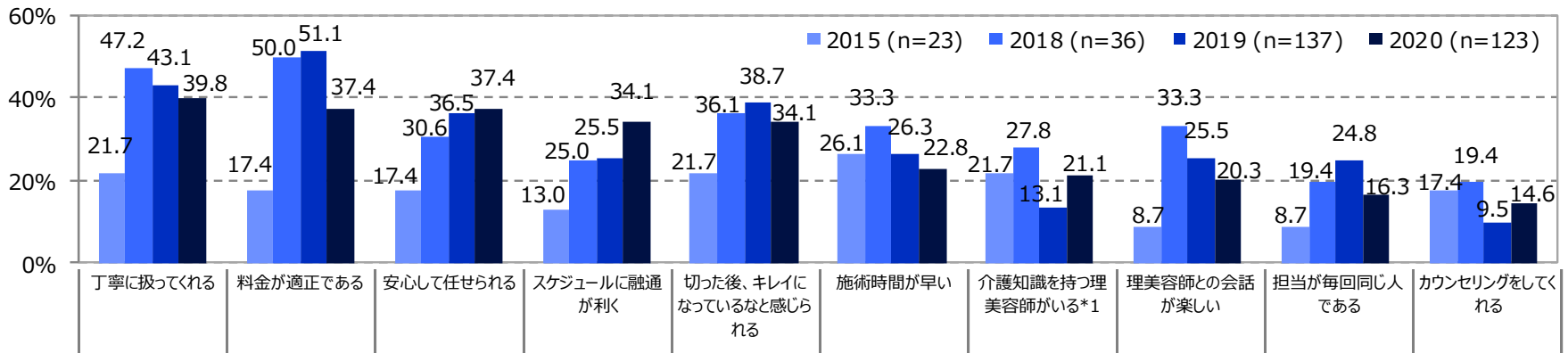
理美容室の満足ポイントは「丁寧に扱ってくれる」「料金が適正である」「安心して任せられる」などが上位にあがる。

「スケジュールに融通が利く」という柔軟な対応への満足度が年々上昇している。

## 理美容室の満足ポイント・TOP10 (Q21)

(※訪問理美容サービスと理美容室併用者ベース)

\*1:2018年以前は「理美容師」は「スタッフ」と聴取

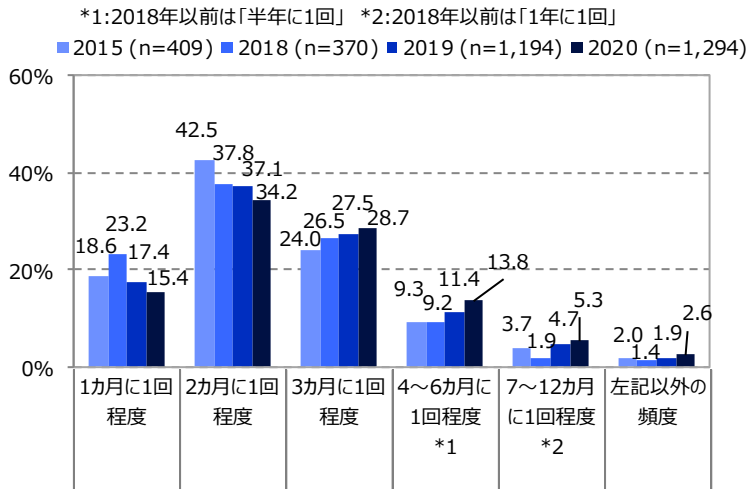


※ n < 30のスコアは参考値

※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

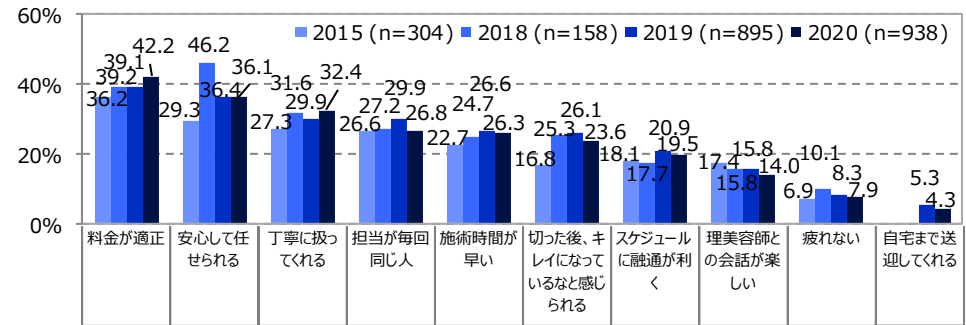
訪問理美容サービス非利用者の髪を切る頻度は「2カ月に1回程度」が最も多い。  
 理美容室の満足ポイントは「料金が適正」が最も高く、「安心して任せられる」「丁寧に扱ってくれる」が続く。  
 理美容室で困っていることは「理美容室まで行くのが疲れる」が最も多い。

**髪を切る頻度 (Q20)**  
 (※訪問理美容サービス非利用者ベース)

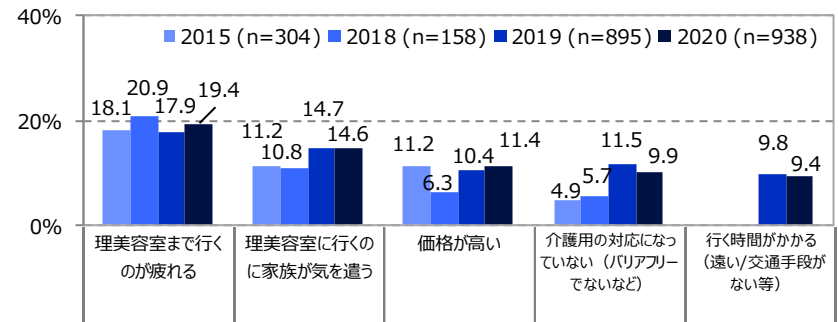


※頻度以外の縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

**理美容室の満足ポイント・TOP10 (Q21)**  
 (※訪問理美容非利用かつ理美容室利用ベース)

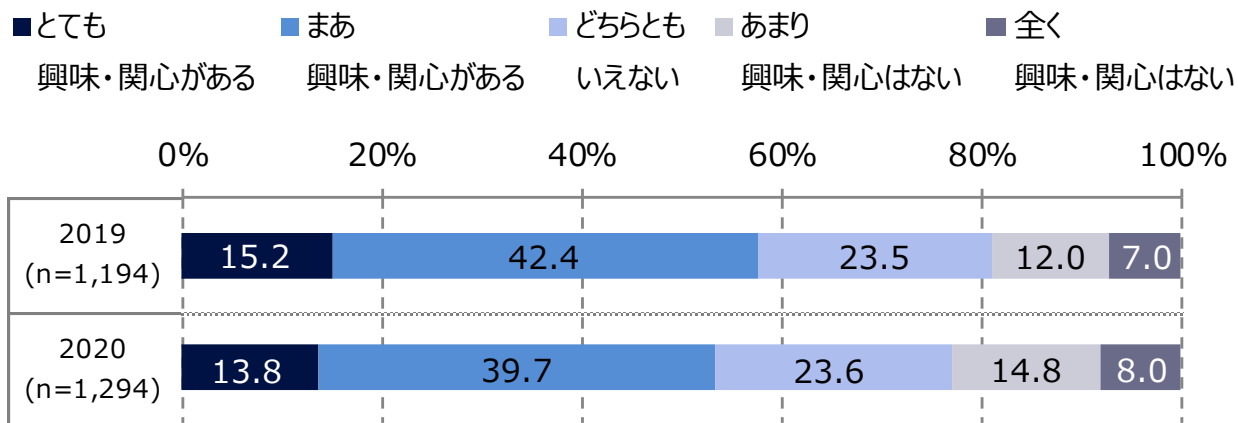


**理美容室で困っていること・TOP5 (Q22)**  
 (※訪問理美容非利用かつ理美容室利用ベース)



訪問理美容サービス非利用者のうち、要介護・支援者ご本人が理美容・身だしなみへの興味・関心がある人は過半数を占めており、2019年と比べても大きな変化はない。

## ご本人の理美容・身だしなみへの興味 (Q27) (※訪問理美容サービス非利用者ベース)

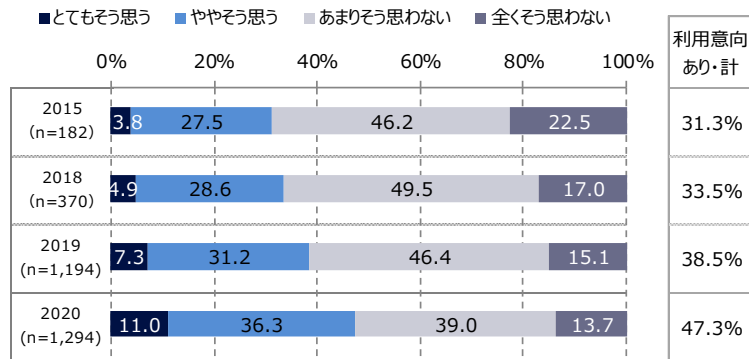


訪問理美容サービス非利用者のうち「利用意向あり・計」は47.3%と、2019年と比べ10pt弱の大幅アップ。

理美容チケットの認知者は12.9%にとどまり、内容まで理解している人は2.9%。

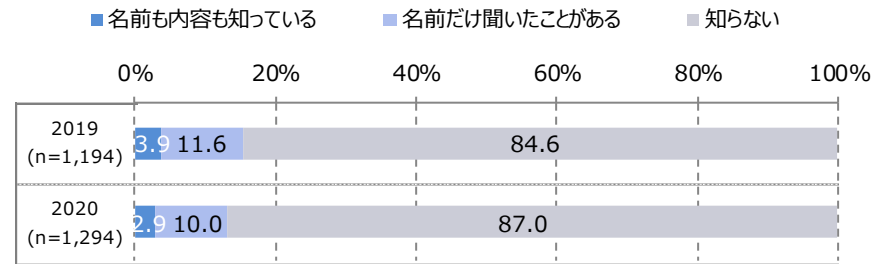
非利用意向理由として、「迎える準備が必要そう・大変そう」「お金がかかる・かかりそう」「受ける本人が嫌がりそう・喜ばなさそう」などが上位にあがる。

訪問理美容サービス利用意向 (Q23)  
(※訪問理美容サービス非利用者ベース)

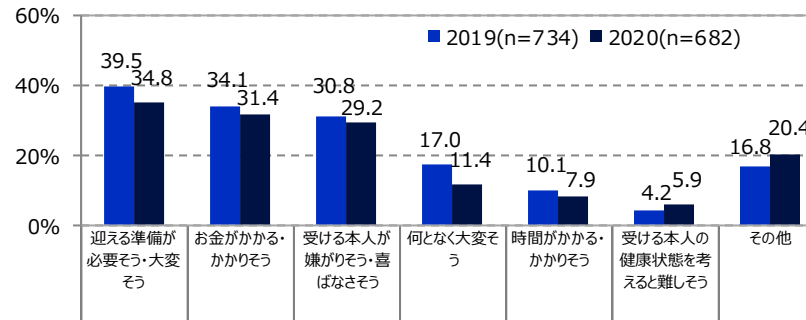


※2015年は訪問理美容サービスについて認知かつ非利用者ベース

理美容チケットの認知 (Q26)  
(※訪問理美容サービス非利用者ベース)



訪問理美容サービス利用意向なしの理由 (Q24)  
(※訪問理美容サービス非利用かつ利用意向なしベース)

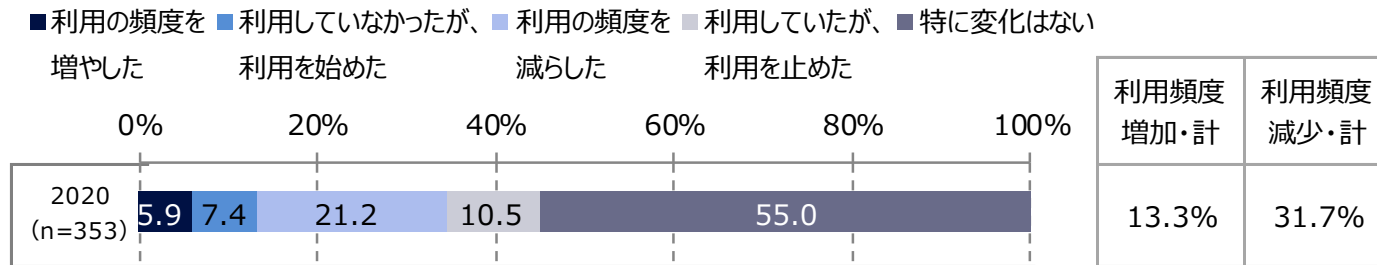


※縦棒グラフは2020年スコアで降順ソート

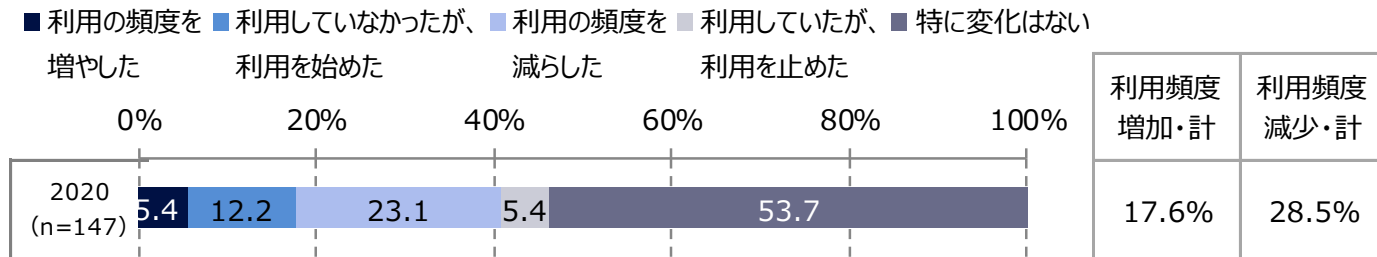
施設・在宅ともに「特に変化はない」が過半数を占めている。  
 変化があった層でみると、施設・在宅ともに「利用頻度減少・計」が「利用頻度増加・計」を上回った。

## コロナ禍における訪問理美容サービスの利用変化 (Q28\_1,2) (※各訪問理美容サービス利用者ベース)

### 介護・福祉施設でのサービス利用変化



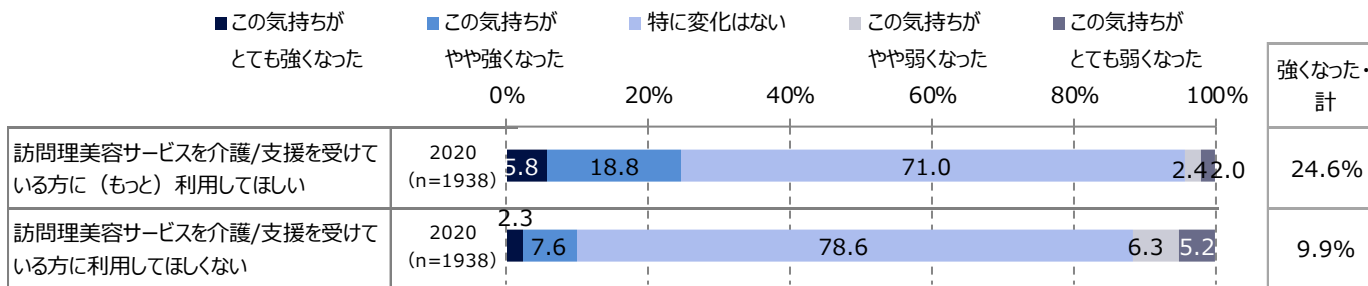
### 在宅でのサービス利用変化





訪問理美容サービスをご家族に「利用してほしい」気持ちの強さは、コロナ禍でも「特に変化がない」が圧倒的多数。「利用してほしい」気持ちが強まった人は25%程度いる。印象も、ポジティブ・ネガティブともに「特に変化はない」が7~8割を占める。印象が良くなった人は25%存在。

## コロナ禍における訪問理美容サービス利用要望 (Q29\_1,2) (※ご家族全体ベース)



## コロナ禍における訪問理美容サービスの印象変化 (Q29\_3,4) (※ご家族全体ベース)

